

資料7

総合科学技術・イノベーション会議
世界と伍する研究大学専門調査会
(第1回会合) R3.3.24

世界と伍する研究大学について

世界と伍する研究大学とは

世界銀行のJamil Salmiが躍進著しい世界の大学を分析したところ、①優秀な人材と世界一流の研究環境の集積、②豊富な予算、③望ましい大学ガバナンスを適切に組み合わせることが必要であることを提唱。

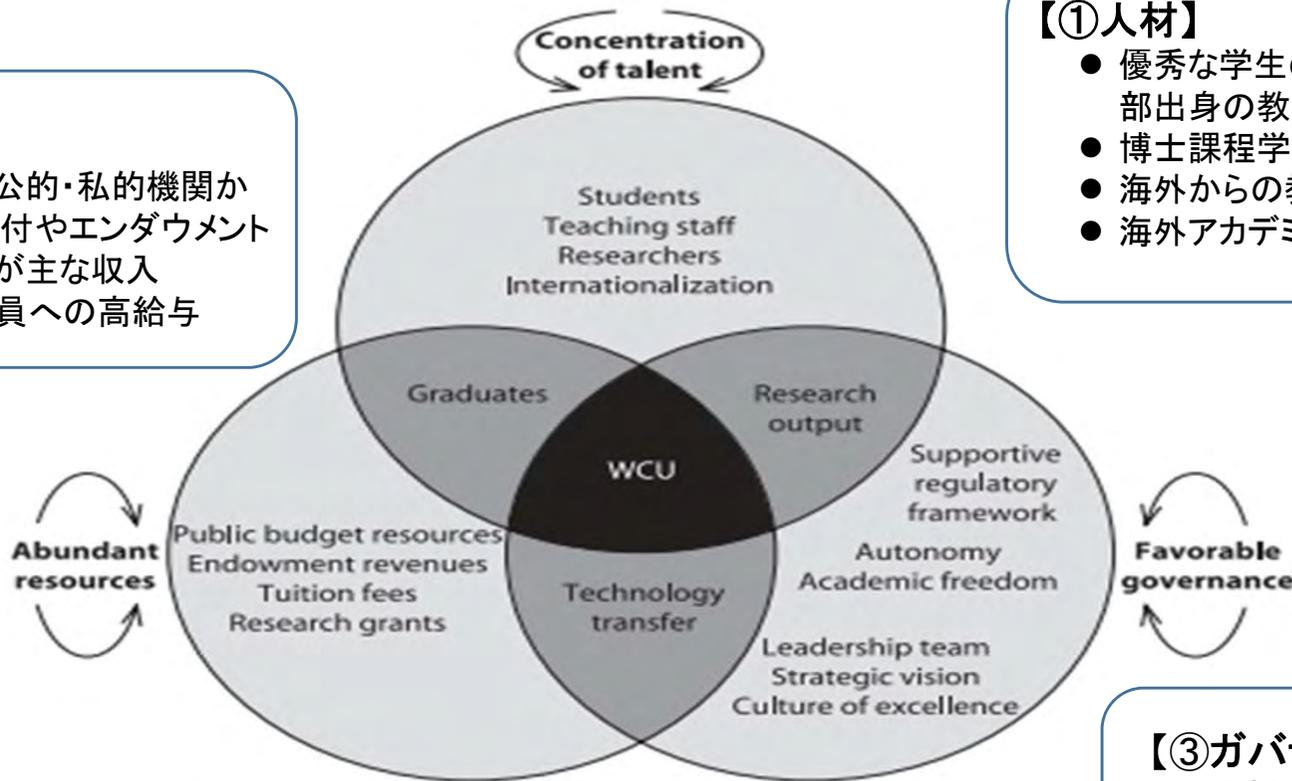
※3つを満たすことがWorld-Class University(WCU)になるためには重要(どれか1つが欠けてもいけない。)

【②資金】

- 政府からの運営費、公的・私的機関からの研究グラント、寄付やエンダウメントからの収入、授業料が主な収入
- 豊富な資金による教員への高給与

【①人材】

- 優秀な学生の選別と優秀な教員の獲得(外部出身の教員の獲得)
- 博士課程学生の選考
- 海外からの教員、学生の獲得
- 海外アカデミックネットワークでの人材交流



Source: Created by Jamil Salmi.

Salmi, J. (2009). *The challenge of establishing world-class universities*. Washington, DC: The World Bank.

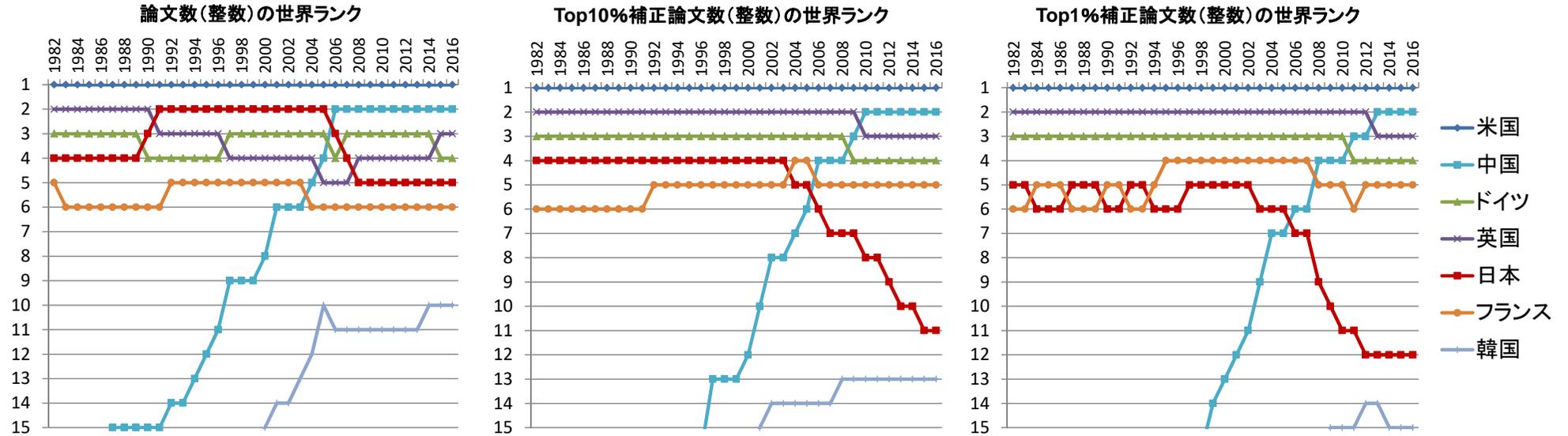
【③ガバナンス】

- 好ましい規制の枠組み、競争環境、学問の自治、経営の自由度
- トップのリーダーシップ

➡ 我が国の大学についても人材面、資金面、ガバナンス面の改革を併せて進めることが必要ではないか。

日本の論文数、Top10%、Top1%補正論文数の世界ランクの変化

- ・世界の論文数は増加基調である。
- ・日本は、論文数、Top10%補正論文数や、Top1%補正論文数における世界ランクが、2000年代半ばから低下している。



論文数			
整数カウント	全分野		
国名	PY2005-2007年(平均値)	PY2015-2017年(平均値)	伸び率
米国	275,999	363,836	↑ 32%
中国	83,390	312,600	↑ 275%
ドイツ	75,137	103,657	↑ 38%
英国	73,236	105,497	↑ 44%
日本	76,630	78,747	→ 3%
フランス	54,222	72,863	↑ 34%
韓国	27,788	57,073	↑ 105%
全世界	937,282	1,469,063	↑ 57%

Top10%補正論文数			
整数カウント	全分野		
国名	PY2005-2007年(平均値)	PY2015-2017年(平均値)	伸び率
米国	41,843	54,414	↑ 30%
中国	6,886	35,973	↑ 422%
ドイツ	9,345	15,308	↑ 64%
英国	10,509	18,187	↑ 73%
日本	5,884	6,613	↑ 12%
フランス	6,507	10,053	↑ 54%
韓国	1,984	4,888	↑ 146%
全世界	93,474	146,899	↑ 57%

Top1%補正論文数			
整数カウント	全分野		
国名	PY2005-2007年(平均値)	PY2015-2017年(平均値)	伸び率
米国	5,047	6,903	↑ 37%
中国	567	3,854	↑ 580%
ドイツ	1,034	2,024	↑ 96%
英国	1,275	2,500	↑ 96%
日本	536	798	↑ 49%
フランス	703	1,340	↑ 91%
韓国	167	551	↑ 230%
全世界	9,347	14,690	↑ 57%

(注1) PYとは出版年 (Publication year) の略である。Article, Reviewを分析対象とした。
 (注2) 論文の被引用数 (2018年末の値) が各年各分野 (22分野) の上位10% (1%) に入る論文数がTop10% (Top1%) 論文数である。Top10% (Top1%) 補正論文数とは、Top10% (Top1%) 論文数の抽出後、実数で論文数の1/10(1/100)となるように補正を加えた論文数を指す。
 クラリベイト・アナリティクス社 Web of Science XML (SCIE, 2018年末バージョン)を基に、科学技術・学術政策研究所が集計。

研究成果の比較

論文の量・質・厚み・国際性という観点からも諸外国の研究大学には劣る状況。

機関名	論文数	FWCI	Top1%論文数	Top1%論文率	Top10%論文数	Top10%論文率	h5-index	著者数	国際共著論文数	国際共著論文率	CNI
スタンフォード大学	63,252	2.69	2,736	4.3%	14,662	23.2%	285	33,140	26,689	42.2%	249
カリフォルニア大学バークレー校	43,236	2.39	1,488	3.4%	9,465	21.9%	216	21,589	19,542	45.2%	230
ハーバード大学	133,900	2.38	5,204	3.9%	30,191	22.6%	337	73,296	61,170	45.7%	301
オックスフォード大学	63,646	2.32	2,137	3.4%	13,192	20.7%	250	29,348	38,036	59.8%	313
カリフォルニア大学サンディエゴ校	44,038	2.23	1,427	3.2%	9,073	20.6%	210	23,118	18,813	42.7%	206
ケンブリッジ大学	53,750	2.18	1,679	3.1%	10,952	20.4%	222	25,817	32,652	60.8%	308
ユニバーシティカレッジロンドン	67,572	2.17	1,966	2.9%	13,241	19.6%	228	32,172	38,820	57.5%	300
京都大学	39,361	1.35	498	1.3%	4,224	10.7%	146	19,808	12,878	32.7%	239
東京大学	57,558	1.35	684	1.2%	6,293	10.9%	164	27,924	19,841	34.5%	270
名古屋大学	23,196	1.20	237	1.0%	2,403	10.4%	101	12,417	7,116	30.7%	234
筑波大学	15,924	1.17	186	1.2%	1,577	9.9%	92	8,986	5,056	31.8%	237
東京工業大学	18,834	1.17	205	1.1%	1,909	10.1%	94	9,484	6,093	32.4%	234
早稲田大学	11,451	1.14	125	1.1%	1,021	8.9%	82	6,739	3,603	31.5%	235
九州大学	23,785	1.13	230	1.0%	2,241	9.4%	102	13,899	7,511	31.6%	235
東北大学	30,562	1.11	301	1.0%	2,808	9.2%	109	15,955	9,894	32.4%	88
大阪大学	31,823	1.11	306	1.0%	2,903	9.1%	120	17,613	9,117	28.7%	234
慶應義塾大学	15,066	1.09	128	0.9%	1,244	8.3%	85	8,812	3,310	22.0%	32
北海道大学	20,553	1.01	134	0.7%	1,718	8.4%	87	12,340	6,270	30.5%	48

- ・FWCI(Field-Weighted Citation Impact) : THE世界大学ランキングにおける被引用数指標の主指標。世界平均は1として、論文ごとに算出。分野、文献タイプなどで標準化されており、分野間の偏りが補正されている。
- ・h5-index: 大学ごとに、ある5年間の発表論文群を分析し、h-countの方法を用いて「被引用数が X 回以上の論文が X 本ある」としたとき、この X の数字を、h5-index と定義する。大学やその分野の「厚み」を示す主要指標。
- ・top10%論文数: 被引用数で上位トップ10%に入る論文群の論文数を示すものであり、「一定の質をもった量」を示す指標。
- ・CNI(Collaborative Network Index) : 国際的な共同研究ネットワークの中で、国際的な大学間の共著関係性の強さを定量的に把握する指標。CNIの値(仮にXとすれば)は、「X本以上共著論文がある海外大学・機関がX大学・機関ある」という説明になる。多ければ多いほど、国際的な共同研究ネットワークの中で、より多くの大学と、強い論文共著関係もっていることがわかる。
- ・国際共著論文率: 国際共著論文数を全論文数で割った割合

人材関係
(本日の関係資料)

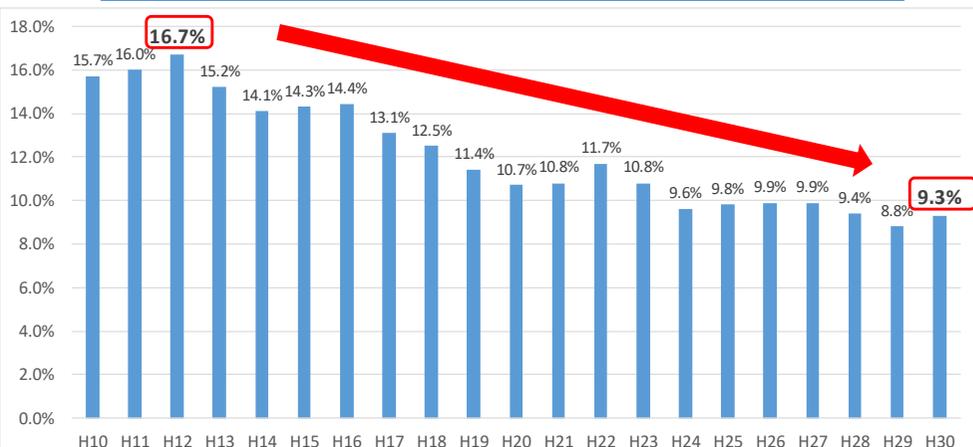
研究力強化に向けた課題

若手をはじめ、研究者を取り巻く状況は厳しく、「研究者」の魅力が低下。

修士課程から博士後期課程への進学率が減少

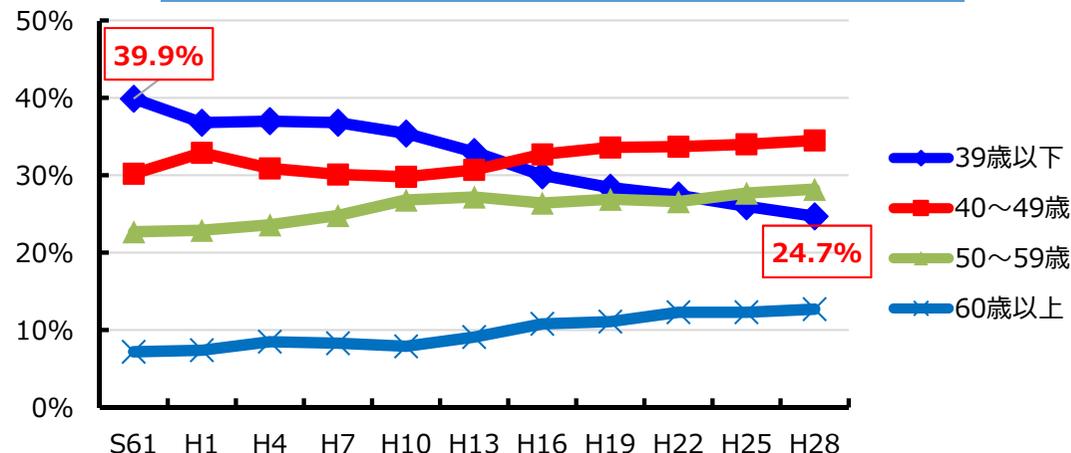
H12: 16.7% ⇒ H30: 9.3%

出典: 学校基本統計



39歳以下の国立大学教員の割合が減少

S61: 39.9% ⇒ H28: 24.7%



※文部科学省「学校教員統計調査」及び総務省「人口推計」を基に、科学技術・学術政策研究所並びに文部科学省集計

40歳未満国立大学教員のうち「任期付き」割合が増加

H19: 38.8% ⇒ H29: 64.2%

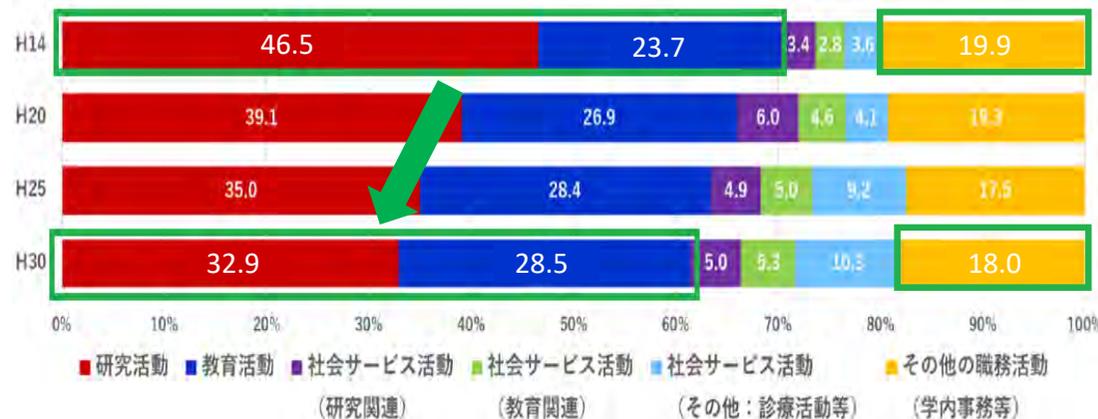
出典: 文部科学省



大学等教員の研究・教育活動の割合が低下、時間が減少

H14: 70.2% ⇒ H30: 61.4%

出典: 大学等におけるフルタイム換算データに関する調査



海外出身教員の割合

米英大学においても海外出身教員の割合が高いが、我が国の大学は低い状況。

大学名	QS ランキング	教員数	うち海外	うち国内	海外比率
スタンフォード大学	2	4,478	2,166	2,312	48.4%
ハーバード大学	3	4,556	1,466	3,090	32.2%
オックスフォード大学	5	6,650	3,137	3,513	47.2%
ケンブリッジ大学	7	5,834	3,019	2,815	51.7%
ユニバーシティカレッジロンドン	10	6,849	3,204	3,645	46.8%
東京大学	24	4,479	295	4,184	6.6%
カリフォルニア大学バークレー校	30	3,089	1,205	1,884	39.0%
京都大学	38	3,878	349	3,529	9.0%
カリフォルニア大学サンディエゴ校	54	4,385	934	3,451	21.3%
東京工業大学	56	1,426	188	1,238	13.2%
大阪大学	72	3,116	333	2,783	10.7%
東北大学	79	3,324	237	3,087	7.1%

教員給与の比較

教員の給与は英米の研究大学との間で差が広がり始めている状況。

THE社「World University Rankings」上位校(英語圏)との平均給与比較

国	順位 2021	大学	教授 Professor		准教授 Associate Professor		講師 Lecturer		助教 Assistant Professor	
日	-	国立大学等 平均	-	1,052万円	-	859万円	-	795万円	-	685万円
英	1	オックスフォード大学	£75,818	1,023万円	-	-	-	-	-	-
	6	ケンブリッジ大学	£85,027	1,148万円	-	-	-	-	-	-
	11	インペリアル・カレッジ・ロンドン	£96,380	1,301万円	-	-	-	-	-	-
	16	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	£82,083	1,108万円	-	-	-	-	-	-
米	2	スタンフォード大学	\$254,232	2,797万円	\$162,967	1,793万円	\$90,004	990万円	\$134,810	1,483万円
	3	ハーバード大学	\$235,604	2,592万円	\$139,180	1,531万円	\$108,716	1,196万円	\$129,531	1,425万円
	4	カリフォルニア工科大学	\$207,794	2,286万円	\$159,050	1,750万円	\$93,021	1,023万円	\$132,486	1,457万円
	5	マサチューセッツ工科大学	\$232,216	2,554万円	\$155,064	1,706万円	\$102,661	1,129万円	\$131,732	1,449万円
	7	カリフォルニア大学バークレー校	\$199,618	2,196万円	\$135,958	1,496万円	\$88,267	971万円	\$111,142	1,223万円
	8	イエール大学	\$236,442	2,601万円	\$135,850	1,494万円	\$85,509	941万円	\$118,006	1,298万円
	9	プリンストン大学	\$248,252	2,731万円	\$147,850	1,626万円	\$93,197	1,025万円	\$118,427	1,303万円
	10	シカゴ大学	\$247,117	2,718万円	\$132,800	1,461万円	\$71,857	790万円	\$119,339	1,313万円
	12	ジョンズ・ホプキンス大学	\$169,266	1,862万円	\$123,706	1,361万円	\$75,407	829万円	\$101,261	1,114万円
	13	ペンシルベニア大学	\$223,693	2,461万円	\$143,860	1,582万円	\$73,830	812万円	\$132,551	1,458万円

(注1)単位未満四捨五入 (注2)英米は、邦貨換算を併記(1ポンド=135円、1ドル=110円として計算)

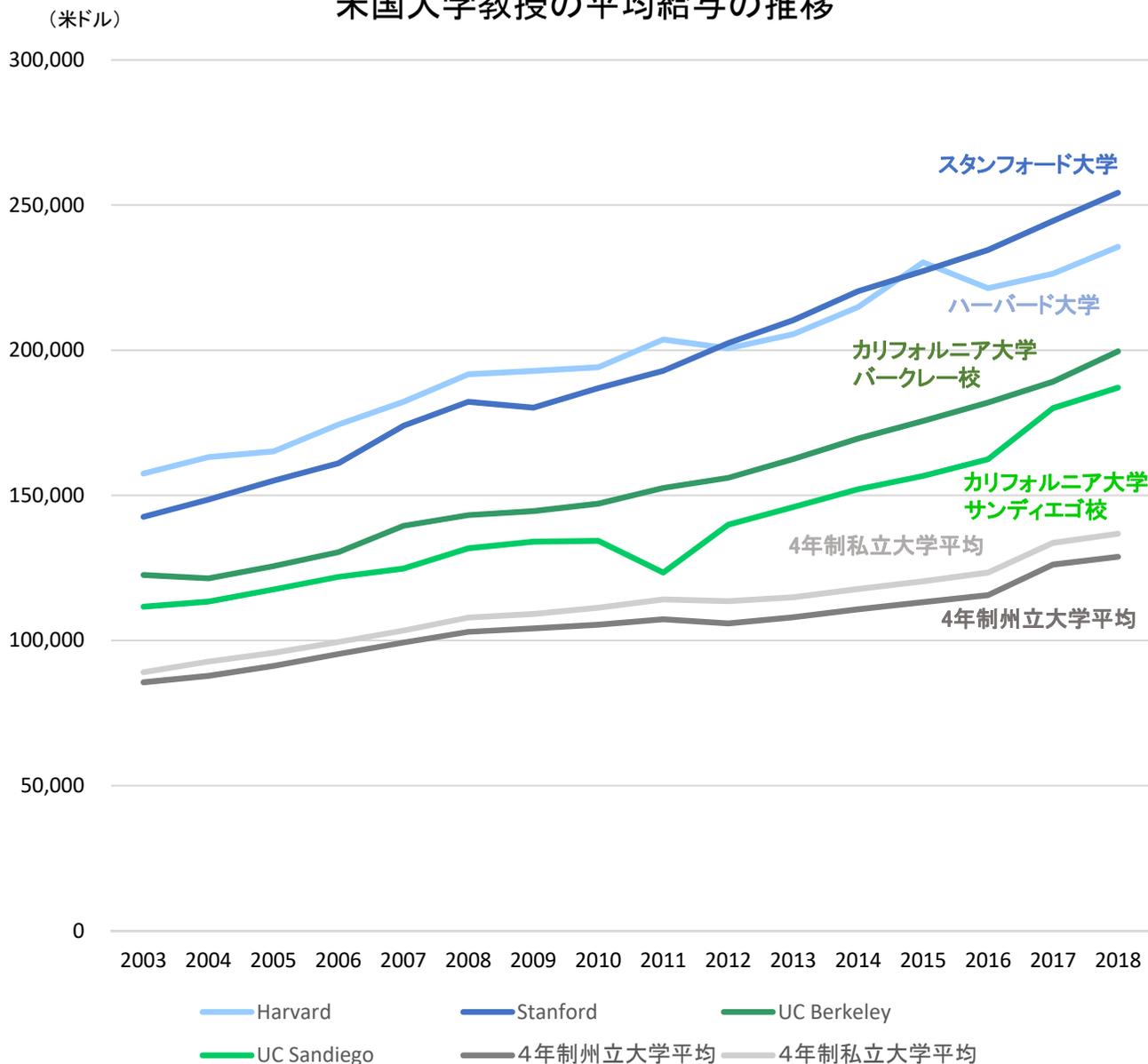
<出典>

- ・日本: [国立大学等 平均] 国立大学(86)、大学共同利用機関法人(4)の令和元年度給与水準公表のデータに基づき文部科学省で集計
※いずれも月給制の大学教員の給与額(通勤手当及び超過勤務手当等を除く)
- ・英国: THE (times higher education) AVERAGE SALARY OF FULL-TIME STAFF 2015-16
- ・米国: CHRONICLE DATA 2018-2019

教授の給与の変化

米国大学においては教員給与が着実に増加傾向。我が国の大学はほぼ変わっていない。

米国大学教授の平均給与の推移



米国: CHRONICLE DATA 2018に基づき、professorの平均給与を記載。

大学教授の平均給与の日米比較

大学名	2004年	2018年
東京大学	1,178万円 (52.6才)	1,197万円 (56.1才)
京都大学	1,163万円 (54.2才)	1,096万円 (55.4才)
東北大学	1,109万円 (54.0才)	1,067万円 (55.0才)
ハーバード大学	1,795万円	2,592万円
スタンフォード大学	1,634万円	2,797万円
カリフォルニア大学 バークレー校	1,335万円	2,196万円
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	1,247万円	2,058万円
4年制州立大学	966万円	1,417万円
4年制私立大学	1,020万円	1,504万円

※物価上昇率を加味すれば、米国の大学の伸びはそれぞれ、1.13倍、1.34倍、1.23倍、1.26倍、1.13倍、1.16倍に留まる。

米国大学の値は1ドル=110円として邦貨換算。国立大学の平均給与については、毎年度公表の「役員及び職員給与の水準」の常勤の教授の平均給与(各種手当、賞与を含む)を記載。

諸外国のトップ教員の給与事例①

諸外国の研究大学においては、優秀な研究者を引き付けるために、多額の報酬が支払われている。

◆カリフォルニア大学バークレー校における役職者以外の高額所得者の報酬額(上位5名)(2019年)

職位	Gross Pay	(参考)邦貨換算
Dean, School of Business	\$578,495	6,363万円
Professor of Economics	\$556,800	6,125万円
Professor of Economics and Law	\$547,012	6,017万円
Professor	\$546,987	6,017万円
Professor	\$539,800	5,938万円

(※)役員、スポーツコーチ等を除く上位5名

(出所)University of California, University of California Employee Pay.<<https://ucannualwage.ucop.edu/wage/>>

(注)邦貨換算は1ドル=110円として計算。

◆スタンフォード大学における役員以外の高額所得者の報酬額(上位5名)(2019年)

職位	当該機関からの報酬額(※)	(参考)邦貨換算
Director of Football	\$4,506,857	4億9,575万円
Chief, PED Cardiothoracic	\$3,393,731	3億7,331万円
Professor & Chair, Cardiothoracic Surgery	\$2,500,473	2億7,505万円
Senior Managing Director, Stanford Management Company	\$2,467,578	2億7,143万円
Professor, Former President	\$2,226,698	2億4,494万円

(※)当該機関からの報酬(Reportable compensation from the organization):従業員等個人の当期の課税所得として雇用主がIRSに申告する報酬額

(出所)The Board of Trustees of the Leland Stanford Junior University, IRS Form 990, 2019.

(注)邦貨換算は1ドル=110円として計算。

諸外国のトップ教員の給与事例②

◆ハーバード大学における役員以外の高額所得者の報酬額(上位5名)(2018年)

職位	当該機関からの報酬額(※)	(参考)邦貨換算
Professor, Business School	\$1,438,997	1億5,829万円
Professor, Business School	\$1,431,583	1億5,747万円
Professor of Health Policy and Management	\$1,045,435	1億1,500万円
Professor, Department of Global Health and Population	\$766,751	8,434万円
Professor of Neurobiology	\$675,044	7,425万円

(※)当該機関からの報酬(Reportable compensation from the organization):従業員等個人の当期の課税所得として雇用主がIRSに申告する報酬額

(出所)President and Fellows of Harvard College, IRS Form 990, 2018

(注)邦貨換算は1ドル=110円として計算。

(参考)国立大学等の教員の高額給与の例

高額給与の例		(参考1) 常勤役員の平均年間報酬	(参考2) 教員(月給制)の平均年間給与
研究所教員(年俸制)	約3,100万円	法人の長 1,827万円 理事 1,446万円 監事 1,235万円 (注)単位未満四捨五入	908万円 (注)単位未満四捨五入
研究所教員(月給制)	約3,100万円		
教授(年俸制)	約2,600万円		
教授(年俸制)	約2,400万円		
教授(年俸制)	約2,300万円		
教授(年俸制)	約2,000万円		

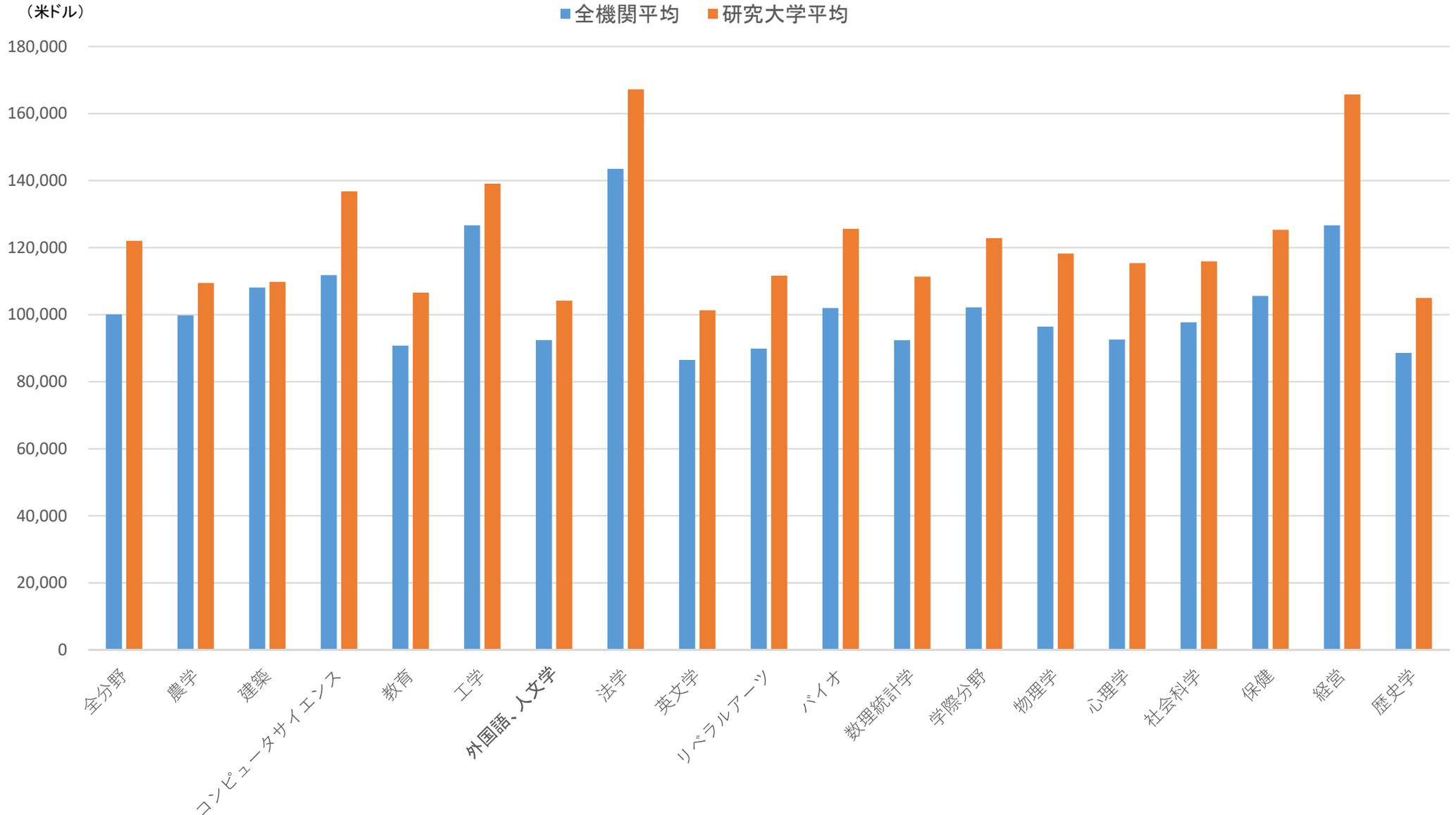
出典: <高額給与の例>文部科学省調べ(平成30年度実績)

<参考1、参考2>国立大学法人及び大学共同利用機関法人の役職員の給与等の水準(令和元年度)の取りまとめ(令和2年7月31日 文部科学省公表)

※文部科学省「国立大学法人の戦略的な経営実現に向けて～社会変革を駆動する真の経営体へ～ 最終とりまとめ(令和2年12月25日)」参考資料から抜粋。

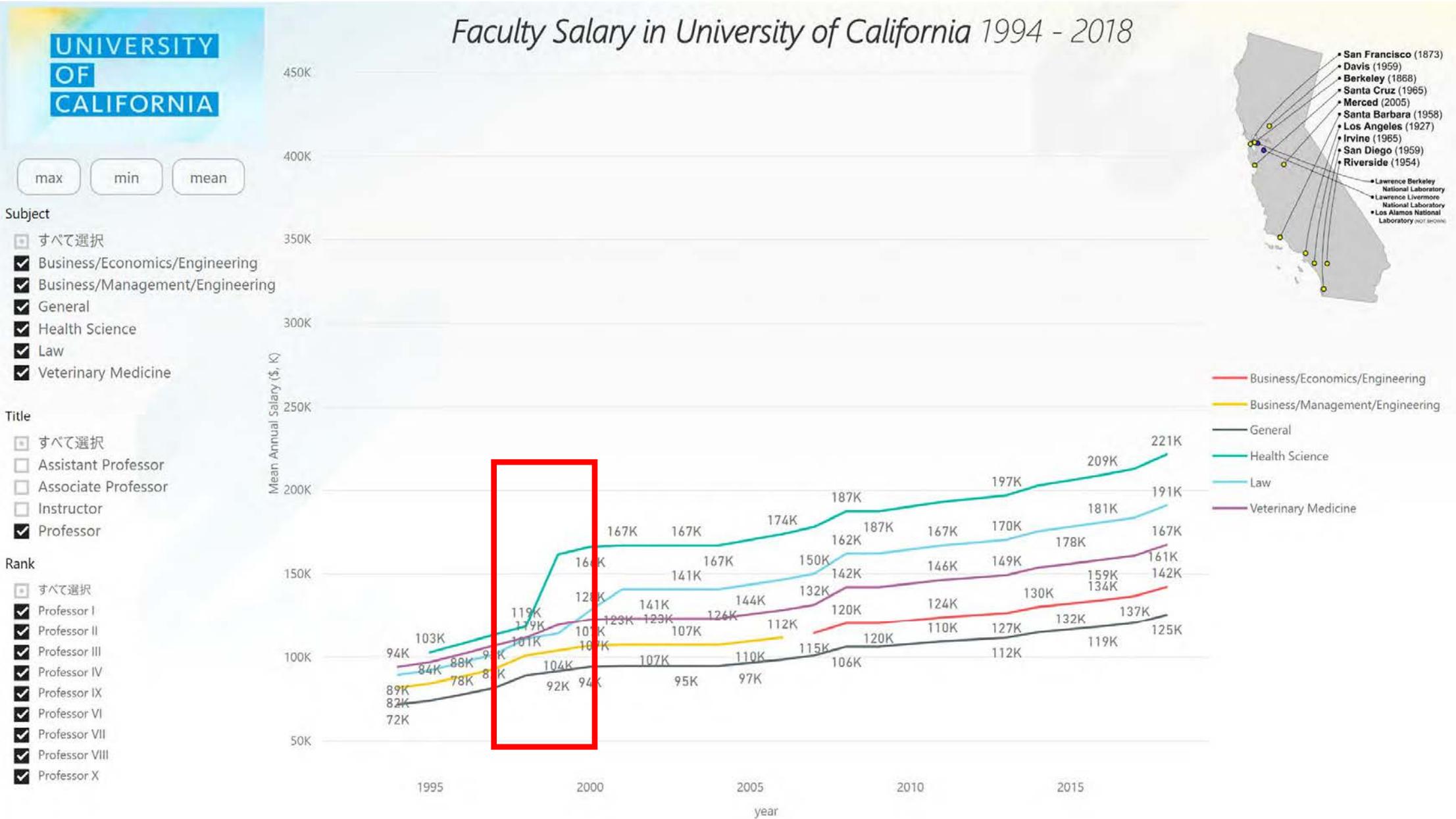
米国の学問分野ごとの教授の平均給与

米国の研究大学においては、学問分野ごとに給与水準に明らかな差がみられる。



出典:「人材獲得のための資金等に係る国際水準調査」報告書(平成28年3月 株式会社三菱総合研究所)(文部科学省平成27年度国立研究開発法人機能強化調査委託事業による委託業務)より

カリフォルニア大学における分野別教員の給与の変化

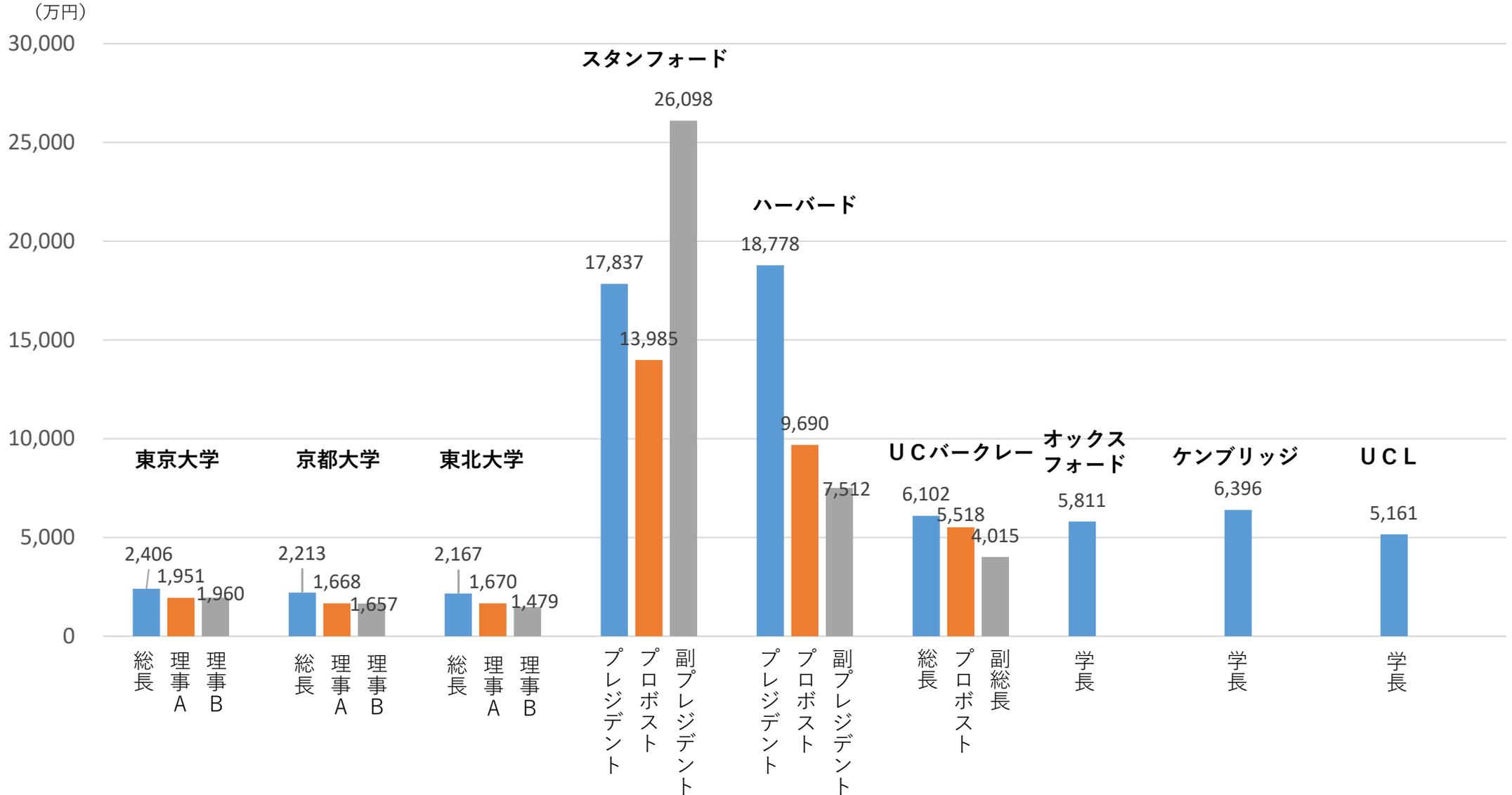


データソース名: 『FACULTY-LADDER RANKS-PROFESSOR SERIES』

- 2018年分: <https://www.ucop.edu/academic-personnel-programs/compensation/2018-19-academic-salary-scales.html>
- 1994~2017年分: <https://www.ucop.edu/academic-personnel-programs/compensation/historic-academic-salary-scales/index.html> 収集時期: 2019年01月17日~21日

諸外国の学長の平均給与

米国の研究大学においては、高額な給与を学長等に支給。



※日本の国立大学は毎年度公表される役職員の報酬・給与等の公表情報（平成30年度）から作成。米国の大学はスライド10、11の出展と同様。英国の大学はoffice for students 公表のRemuneration of head of providerの数値を使用。米国は当該機関と当該機関と関係する機関からの報酬を合算した数値。米ドル=110円、ポンド=130円で換算。

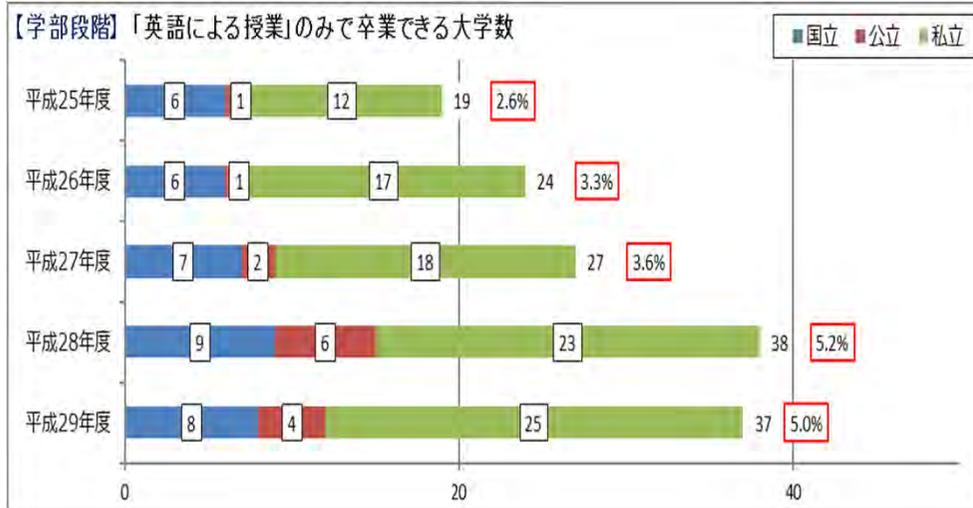
留学生の割合

大学院への留学生数は増えているものの、国際化の進んだ英国と比較すると、その比率はまだ低い状況。

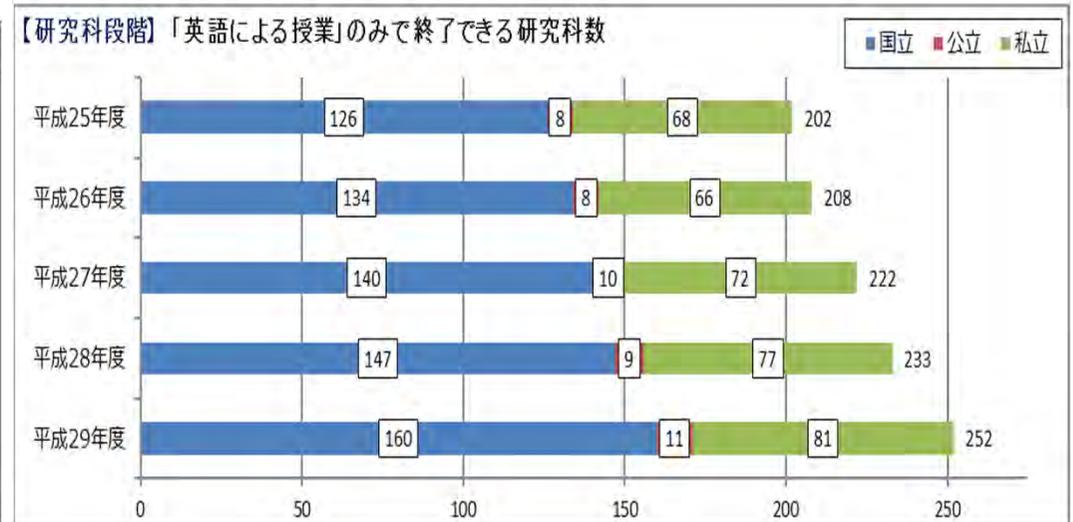
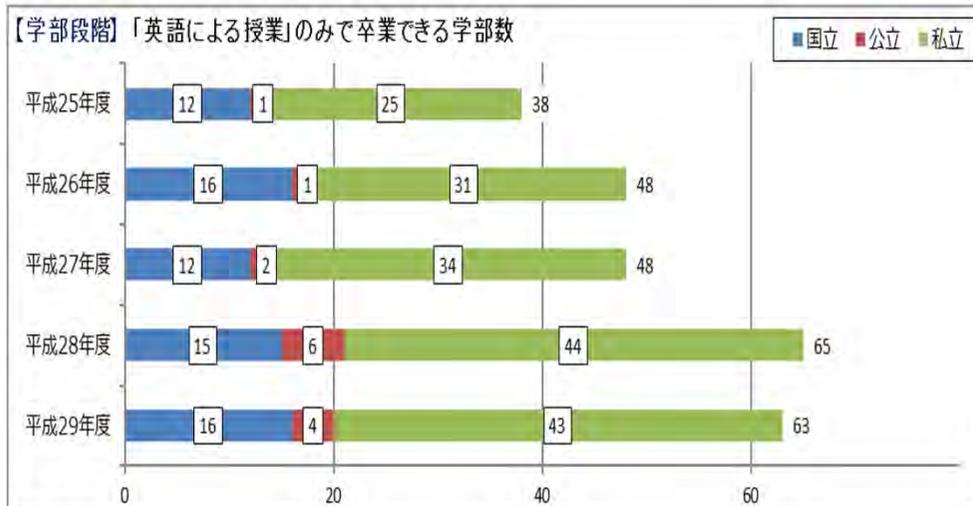
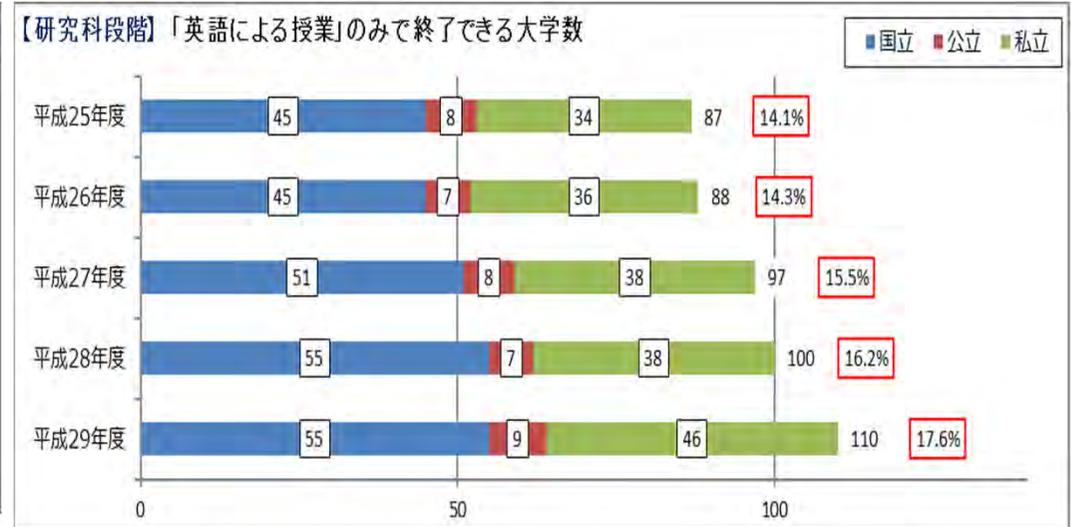
大学名	QSランキング	学生数	うち院生	うち学部生	留学生	うち院生	うち学部生	院生総数	うち留学生数	院生に占める留学生の割合
スタンフォード大学	2	16,384	57%	43%	3,935	81%	19%	9,390	3,188	34%
ハーバード大学	3	23,583	70%	30%	5,816	85%	15%	16,508	4,944	30%
オックスフォード大学	5	20,786	43%	57%	8,259	69%	31%	8,938	5,699	64%
ケンブリッジ大学	7	19,876	38%	62%	7,595	61%	39%	7,553	4,633	61%
ユニバーシティカレッジロンドン	10	35,897	48%	52%	20,251	52%	48%	17,231	10,531	61%
東京大学	24	27,559	49%	51%	3,725	88%	12%	13,504	3,278	24%
カリフォルニア大学 バークレー校	30	40,443	26%	74%	6,914	42%	58%	10,515	2,904	28%
京都大学	38	22,687	43%	57%	2,628	91%	9%	9,755	2,391	25%
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	54	40,066	21.5%	79.5%	8,880	39%	60%	8,641	3,484	40%
東京工業大学	56	9,835	52%	48%	1,384	83%	17%	5,114	1,149	22%
大阪大学	72	22,510	35%	65%	2,123	77%	23%	7,879	1,635	21%
東北大学	79	17,718	39%	61%	1,872	88%	12%	6,910	1,647	24%

英語による授業の実施状況

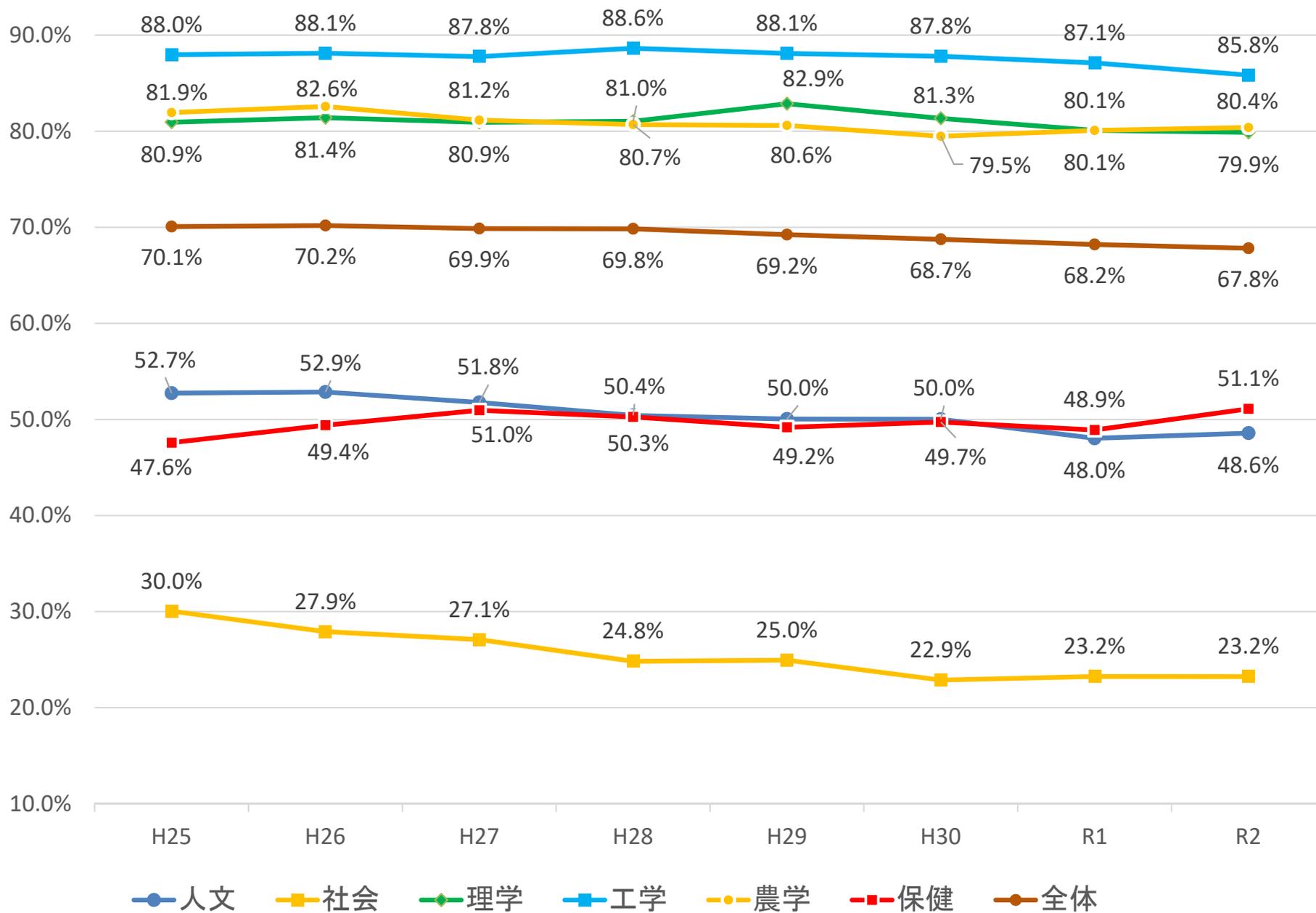
- ◆ 英語による授業を実施する大学は、全国立大学のうち、学部段階で76%、大学院段階で88%にのぼる。
- ◆ しかし、英語による授業のみで卒業・修了できる課程は未だ少数。
【学部：8大学16学部、大学院：55大学160研究科】



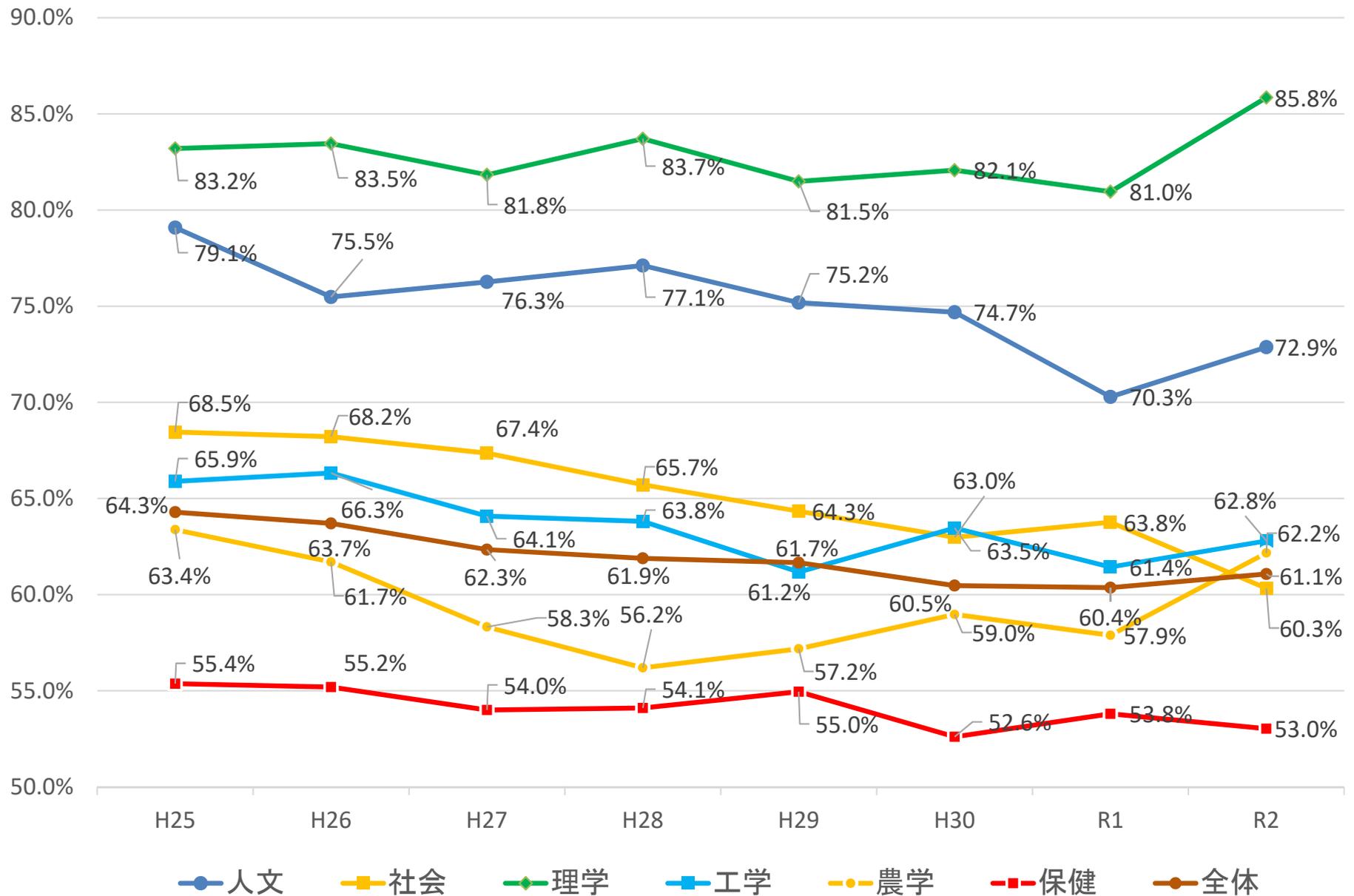
(※) 大学院のみを設置する大学は母数に含めない。



入学者数に占める自大学出身者割合(修士)



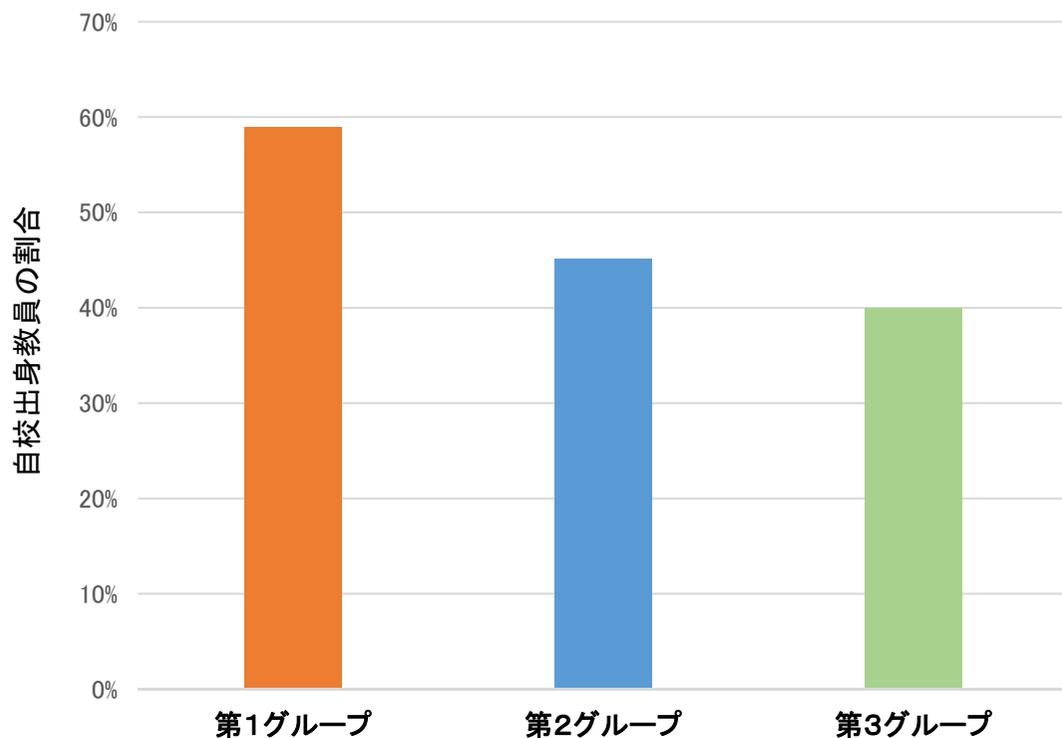
入学者数に占める自大学出身者割合(博士)



大学本務教員の自校出身者比率

国内の大学においては、大規模大学グループほど大学本務教員の自校出身者比率が高くなる傾向。

大学グループ(※)別



出典: 令和元年度 学校教員統計調査(中間報告値)をもとに文部科学省作成

個別大学事例

大学	自校出身教員の割合
大阪大学	44%
京都大学	63%
東京工業大学	35%
東北大学	48%

出典: 各大学への聞き取りをもとに文部科学省作成

※大学グループ:

2009～13年の日本国内の論文数シェア(自然科学系、分数カウント)を用い、論文数シェアの大きい順に大学をグループ分けした分類。

第1グループ: 大阪大学、京都大学、東京大学、東北大学

第2グループ: 岡山大学、金沢大学、九州大学、神戸大学、千葉大学、筑波大学、東京工業大学、名古屋大学、広島大学、北海道大学、慶應義塾大学、日本大学、早稲田大学

第3グループ: 愛媛大学、鹿児島大学、岐阜大学、熊本大学、群馬大学、静岡大学、信州大学、東京医科歯科大学、東京農工大学、徳島大学、鳥取大学、富山大学、長崎大学、名古屋工業大学、新潟大学、三重大学、山形大学、山口大学、大阪市立大学、大阪府立大学、横浜市立大学、北里大学、近畿大学、順天堂大学、東海大学、東京女子医科大学、東京理科大学

(文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術・学術基盤調査研究室「科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP定点調査2019)報告書」より)

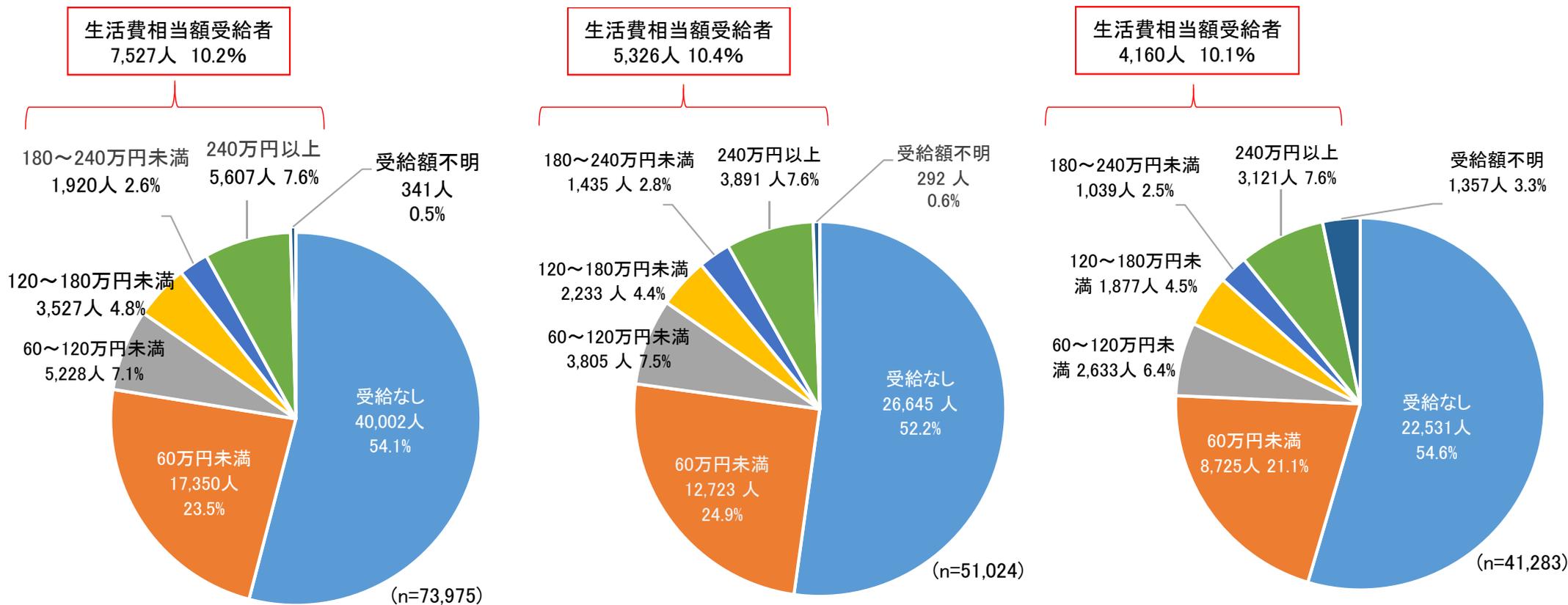
我が国における博士課程学生の経済的支援の状況

博士課程学生一人あたりの受給額

平成24年度時点

平成27年度時点

平成30年度時点



※貸与型奨学金を除く
※授業料減免を含む

※貸与型奨学金を除く
※授業料減免を含む

※貸与型奨学金を除く
※授業料減免、JASSO奨学金の返還免除を含む

※ 回答から漏れていた特別研究員(DC)の受給者が「受給なし」に分類されていたため、実際は年間240万円を受給しているものと仮定して、補正している。

出典:平成25年度文部科学省先導的大学改革推進委託事業
「博士課程学生の経済的支援状況と進路実態に係る調査研究」
(平成26年5月 三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

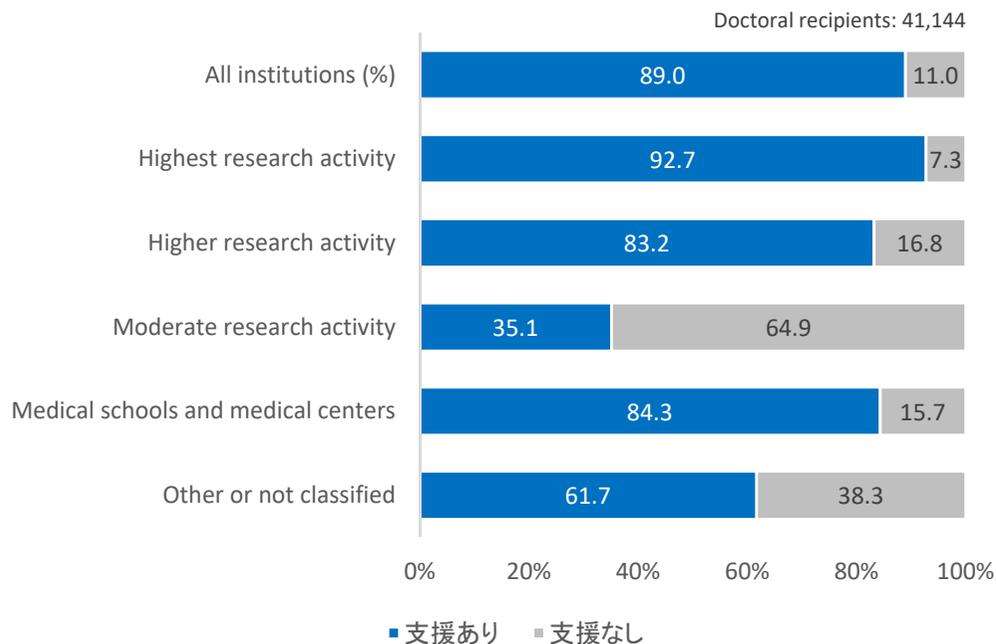
出典:平成28年度文部科学省先導的大学改革推進委託事業
「博士課程学生の経済的支援状況に係る調査研究」
(平成29年3月 株式会社インテージリサーチ)

出典:令和元年度文部科学省先導的大学改革推進委託事業
「博士課程学生の経済的支援状況に係る調査研究」
(令和2年3月 株式会社リベルタス・コンサルティング)

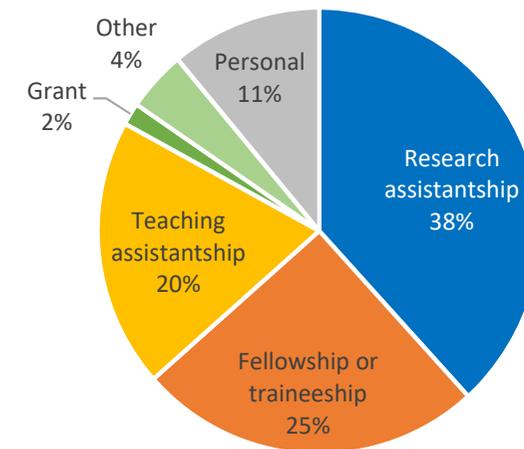
米国における博士課程学生への支援

- 米国大学の博士後期課程学生の約9割は、何らかの形で経済的支援を受けている。また、研究が盛んな大学ほど支援を受ける割合が高い傾向がある。
 - 支援方策はリサーチ・アシスタント(RA)・トレーニング、フェローシップ等、ティーチング・アシスタント(TA)、その他(外国政府、社費等)の順が多い。
- * 下記の調査は別々の調査であるため、支援割合が若干異なる。

【米国】博士号取得者の支援の有無
(大学分類別)



【米国】博士後期課程学生への主な支援制度



* Personal support mechanisms include personal savings, other personal earnings, other family earnings or savings, and loans. Research assistantships include research assistantships and other assistantships. Traineeships include internships and residencies. Other support mechanisms include employer reimbursement or assistance, foreign support, and other sources. Percentages may not add to total because of rounding.

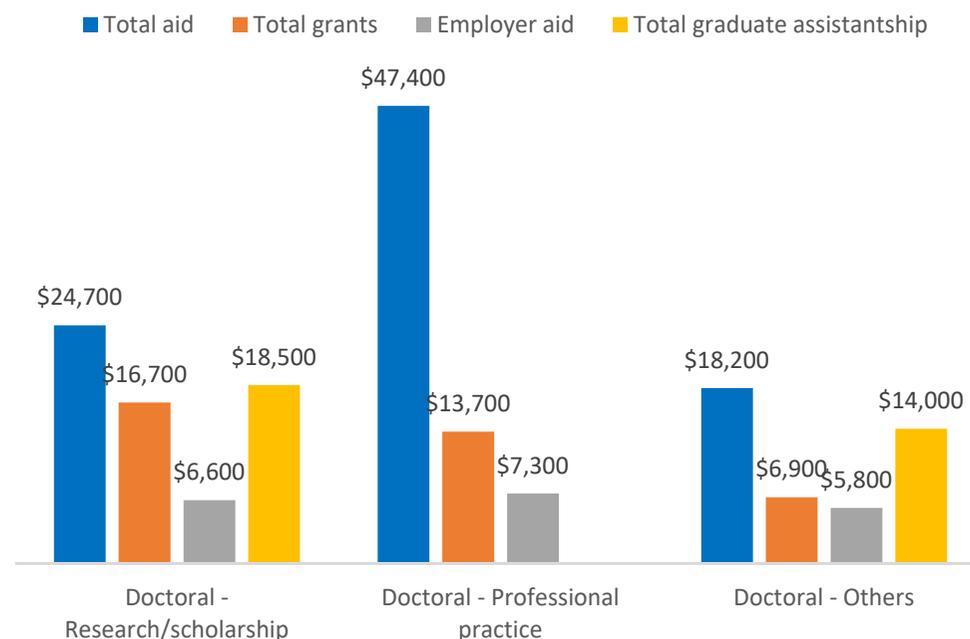
* 下記調査の回答について、不明(Unknown)を除いてグラフを作成。

* Source(s): National Center for Science and Engineering Statistics, National Science Foundation, special tabulations (2018) of the 2017 Survey of Earned Doctorates (SED). Science and Engineering Indicators. "Table 2-2: Primary support mechanisms for S&E doctorate recipients, by 2015 Carnegie classification and control of doctorate-granting institution: 2017"

米国における博士課程学生への支援②

- 米国の研究大学に所属する博士課程学生の平均総受給額は\$24,700(約270万円)。制度毎の平均値は、TA・RAが\$18,500(約200万円)、グラント(奨学金や授業料減免)が\$16,700(約180万円)、社費等支援\$6,600(約70万円)となっている。

【米国】博士課程学生の平均受給額(年間)



* Doctoral—research/scholarship programs(研究博士プログラム), such as Ph.D., Ed.D.(教育学), D.M.A.(音楽), D.B.A.(経営学), D.Sc.(理学), D.A.(芸術), or D.M.(マネジメント), were doctoral degrees beyond the master's level that require completion of a dissertation based on original research or an original project demonstrating substantial artistic or scholarly achievement.

* Doctoral—professional practice programs(専門職博士プログラム) included one of the following: Chiropractic(カイロプラクティック), Pharmacy(薬学), Dentistry(歯学), Podiatry(足医学), Medicine (M.D.)(医学), Veterinary Medicine(獣医学), Optometry(検眼学), Law (L.L.B. or J.D.)(法学), or Osteopathic Medicine(整骨医学).

* Total grants includes grants, scholarships, or tuition waivers from federal, state, institutional, or private sources, including employers. Professional practiceの数値は統計的に有意な値ではないため未記載。

* Teaching assistantships are funded by institutions, but research assistantship funds may come from any source.

* Source(s): "2015-16 National Postsecondary Student Aid Study(NPSAS: 16)", Table 8

米国における博士課程学生のRAの雇用条件

大学	年間支援額	従事時間	時給 (試算値)	備考、参考URL	
Cornell University	\$37,381	週15時間	5,711円	年間従事時間: 15時間 × 4週 × 12ヶ月 = 720時間として試算。 https://gradschool.cornell.edu/financial-support/stipend-rates/	
Stanford University	\$40,584	週20時間	4,650円	年間従事時間: 20時間 × 4週 × 12ヶ月 = 960時間として試算。 https://gfs.stanford.edu/salary/salary19/index.html	
MIT	\$39,391	週20時間まで	4,513円	年間従事時間: 20時間 × 4週 × 12ヶ月 = 960時間として試算。 https://gradadmissions.mit.edu/costs-funding/stipend-rates https://oge.mit.edu/gpp/assistance/rata/research-assistants/	
University of Chicago	\$34,000 ~ 36,000	週20時間まで	3,895 ~ 4,125円	年間従事時間: 20時間 × 4週 × 12ヶ月 = 960時間として試算。 https://studentmanual.uchicago.edu/university-policies/student-employment/ http://psdlbc.uchicago.edu/bestprac/payroll/graduate.shtml	
Harvard University	\$39,528	年間1,200時間 (試算)	3,623円	従事時間はFall, Winter, Springクォーターの9ヶ月を週20時間、Summerクォーターを週40時間RAに従事したとして試算(20 × 4 × 9 + 40 × 4 × 3 = 1,200時間) https://hr.hms.harvard.edu/managing-hms/recruitment/students https://biophysics.fas.harvard.edu/financial-aid https://seo.harvard.edu/wage-ranges	
UC San Diego	\$34,000	年間1,200時間 (試算)	3,116円	従事時間はFall, Winter, Springクォーターの9ヶ月を週20時間、Summerクォーターを週40時間RAに従事したとして試算(20 × 4 × 9 + 40 × 4 × 3 = 1,200時間) https://career.ucsd.edu/jobs-experience/student-employment/on-campus/index.html https://www.ucsd.edu/catalog/front/GradAdmission.html	
UC Berkeley	\$40,272 ~ 45,996	年間約2,080時間	2,122円 ~ 2,423円 (公式HP)	従事時間は支援額 ÷ 時給から計算。 https://grad.berkeley.edu/financial/appointments/handbook/#stepsgsar	

平均3,797円

日本では、国立大学であっても時給1,400円程度(週20時間勤務が上限の場合、年間上限額は約135万円)の事例が数多く存在。

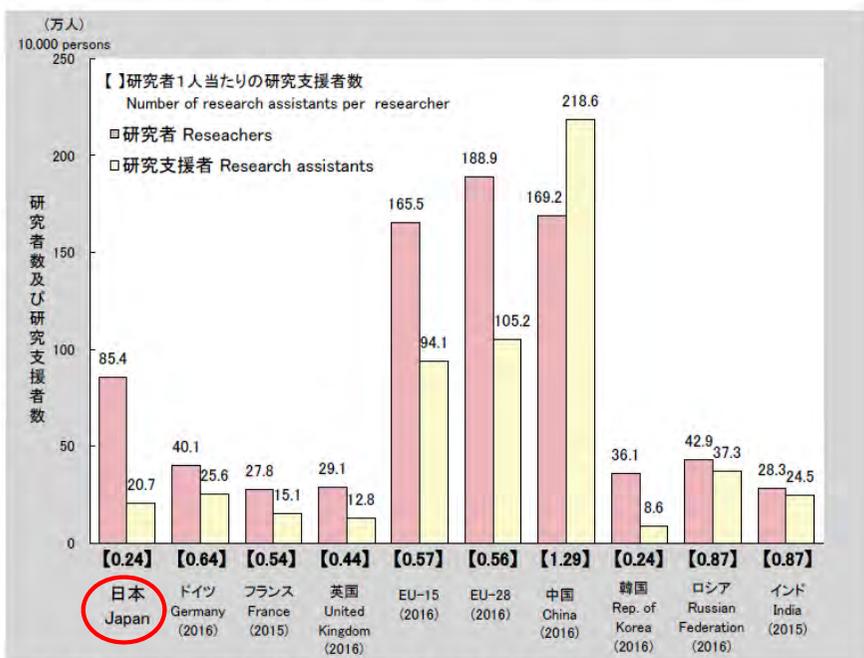
- 支援額: 各大学ウェブサイトに記載されているRAに係る支援額(stipend含む)
- 従事時間: 大学ウェブサイト上に記載されている一週間当たりの時間制限、またはそこから試算した年間従事時間
- 時給(試算値): 指定のない限り、支援額 ÷ 年間従事時間(試算値)により求めた計算上の時給。1\$ = 110円として計算。

研究者当たりの研究支援者数

- 日本は、他国と比較して研究者1人当たりの研究支援者数が少ない。
- 特に、大学の研究者について、研究者1人当たりの研究補助者の数が十分ではないのではないか。

10-1 主要国等の研究者1人当たりの研究支援者数

Number of research assistants per researcher in selected countries



- 注) 1. 研究者1人当たりの研究支援者数は研究者数及び研究支援者数より文部科学省で試算。
 2. 各国とも人文・社会科学を含む。
 3. 研究支援者は研究者を補助する者、研究に付随する技術的サービスを行う者及び研究事務に従事する者で、日本は研究補助者、技能者及び研究事務その他の関係者である。
 4. ドイツの値は推計値である。
 5. 英国の研究者数の値は暫定値であり、研究支援者数の値は過小評価されている。
 6. EUの値はOECDによる推計値である。

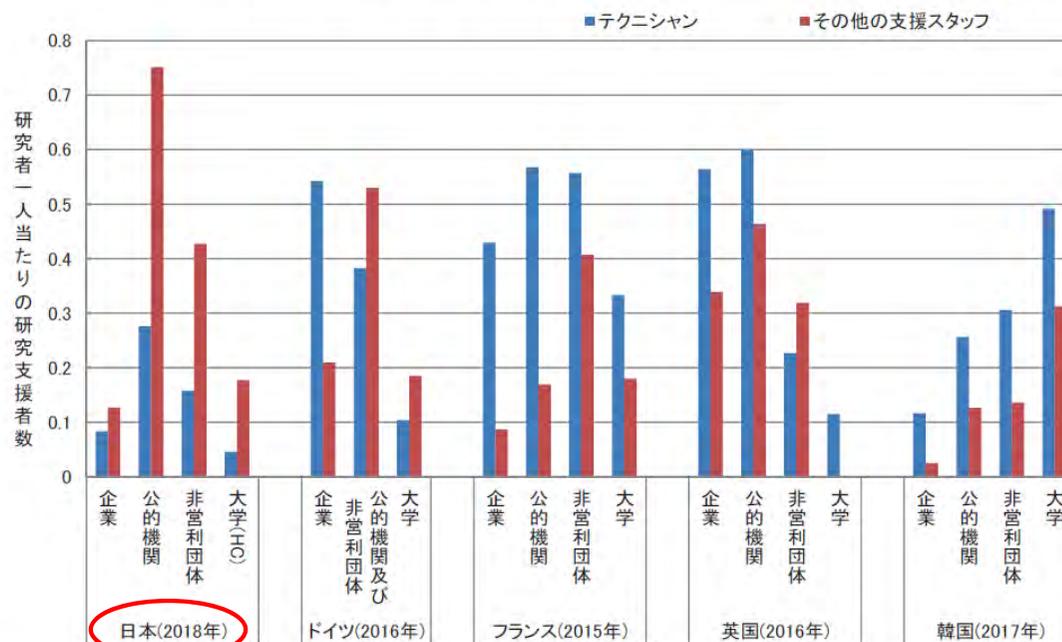
資料: 日本: 総務省統計局「科学技術研究調査報告」

インド: UNESCO Institute for Statistics S&T database

その他の国: OECD, Main Science and Technology Indicators, Vol. 2018/7.

参照: 30-2

【図表 2-3-2】 主要国の部門別研究者一人当たりの業務別研究支援者数



注: 1) 研究支援者は国によって定義及び測定方法に違いがある。また、各部門によっても違いがあるため国際比較するときは注意が必要である。各国研究支援者の違いについては図表 2-3-1 を参照のこと。

2) 研究者の注は図表 2-1-1 と同じ。

3) FTE 値である。ただし、日本の大学はHC(実数)である。

<日本>テクニシャンは「研究補助者」である。その他の支援スタッフは「技能者」及び「研究事務その他の関係者」である。

<ドイツ>企業の研究支援者は見積り値である。

<英国>大学、非営利団体の研究支援者は見積り値である。

<韓国>テクニシャンは「研究支援・技能人材」である。その他の支援スタッフは「研究行政・その他の支援人材」である。

資料: <日本>総務省、「科学技術研究調査報告」

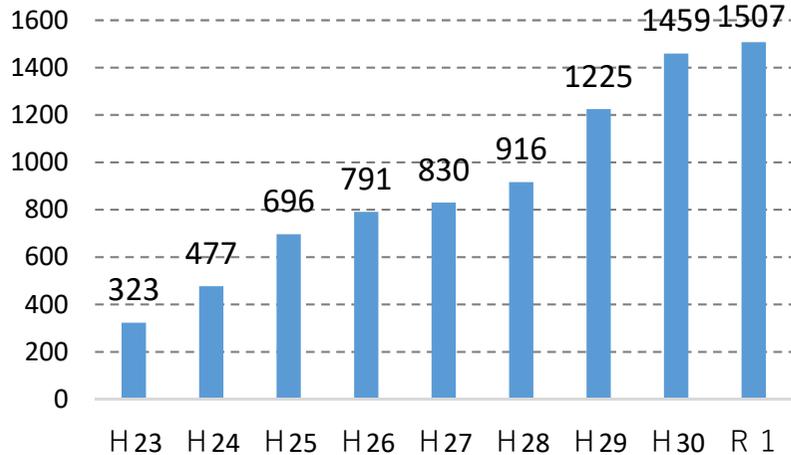
<その他の国>OECD, "R&D Statistics"

参照: 表 2-3-2

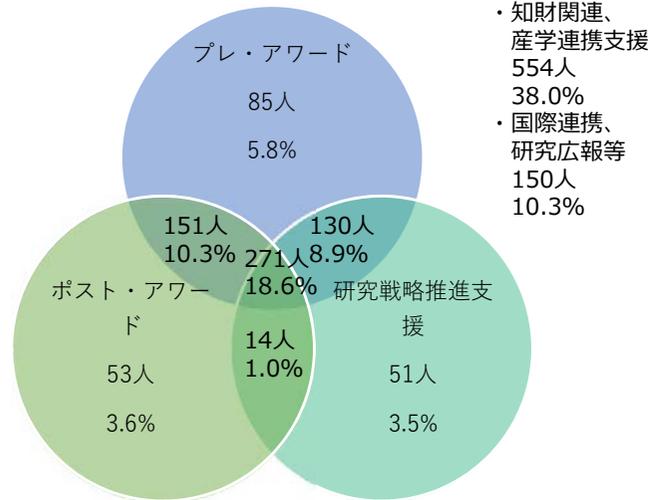
我が国のURAの現状

○我が国の大学等において、リサーチ・アドミニストレーターは、大学の研究を支える多様な業務を担っており、その配置も一定程度行われてきた。

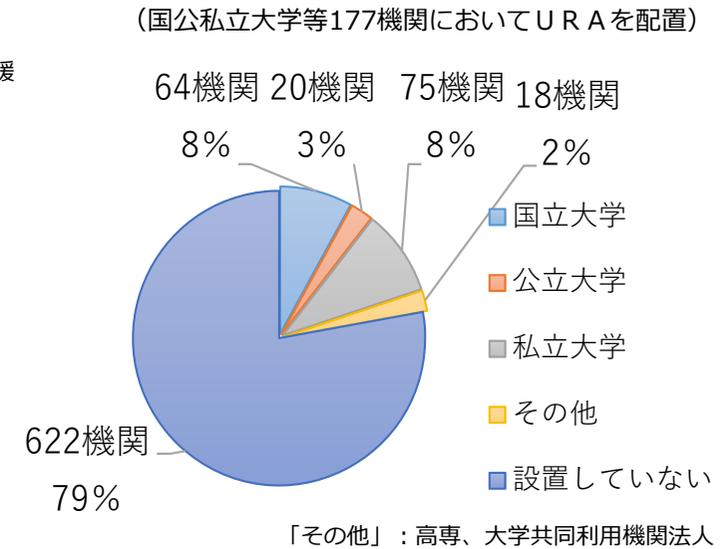
●URA配置人数



●URAの職務従事状況 (n = 1,507)



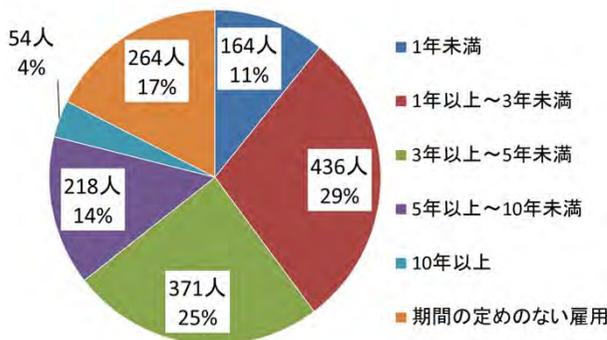
●URA配置状況 (n = 799)



※平成29年度より「産官学連携コーディネータ」を含めた数に変更

○有期雇用が約8割を占め、URAの雇用環境が安定的なものでない。

●URAの雇用状況 (n = 1,507)



●URAの給与状況

【A大学の事例】

URA	32歳 (卒後10年)	基本給 366万 + 業績給 (30%)	= 476万円
主任URA	47歳 (" 25年)	基本給 498万 + 業績給 (32.5%)	= 660万円
主幹URA	55歳 (" 33年)	基本給 570万 + 業績給 (32.5%)	= 755万円
首席URA	60歳 (" 38年)	基本給 654万 + 業績給 (32.5%)	= 867万円

- ・大卒後の年次で年俸を決定。
- ・業績給は標準を30.0 or 32.5%(C)として、25.0(D)~44.5%(S)の4段階で設定
- ・基本給 (年俸) は、全ての手当を一律に含んだ整理で算出
- ・PhDホルダーの優位設定はなし。
- ・固定時間制 (裁量労働制非該当職種)、別途超過勤務手当を措置
- ・5年有期で採用し、4年目後半で継続希望者に対し無期化審査を実施
- ・毎年の業績給査定、定期昇給、また適宜の昇格審査、無期化審査には毎年実施の業務評価を活用

【B大学の例】

職員給与規程URA職基本給表 (月額)

1級1号：195,500円～7級45号：468,600円

※出典：文部科学省「令和元年度 大学等における産学連携等実施状況について」(令和3年1月)等

米国における大学職員の給与

大学スタッフ(研究職)についても、職種によって給与に差がある。

	平均年間給与(ドル)		上位10%年間給与(ドル)	
	私立	州立	私立	州立
サイエンティスト(農学)	56,130	57,160	91,870	94,760
サイエンティスト(バイオ)	59,200	68,320	90,500	110,060
サイエンティスト(自然保護)	73,610	57,390	108,810	84,460
サイエンティスト(医薬)	67,540	65,470	106,270	107,650
サイエンティスト(宇宙物理)	84,890	78,730	146,720	134,840
サイエンティスト(大気宇宙)	74,060	81,330	119,540	122,400
サイエンティスト(化学)	58,700	62,600	90,140	103,160
サイエンティスト(環境)	69,190	73,480	105,290	119,130
エコノミスト	100,340	65,150	158,490	113,520
サーベイ・リサーチャー	57,620	51,390	105,590	74,200
サイコロジスト	66,320	60,310	97,570	92,100
社会学者	83,730	50,690	149,920	85,420
都市・地域計画者	—	72,880	—	118,270
テクニシャン	45,540	41,230	70,060	61,390

米国における管理系職員の給与

大学スタッフ(管理系職)についても、職種によって給与に差がある。

	平均年間給与(ドル)		上位10%年間給与(ドル)	
	私立	州立	私立	州立
広報、マーケティング、渉外、営業系	108,520	—	174,780	—
事務系(システム・人事等)	106,920	97,420	172,930	150,750
農業系	—	58,540	—	85,310
建設系	112,100	97,120	162,970	144,610
教育系	99,600	110,590	174,820	> 187,200
建築工学系	114,670	102,520	158,760	166,120
食料サービス系	69,580	63,210	100,870	93,800
運搬系	56,500	66,750	99,060	108,660
医薬系	107,930	106,800	181,170	173,600
自然科学系	109,060	115,130	> 187,200	182,820
資産運用系	97,450	91,450	159,580	149,650
社会コミュニティ系	69,310	76,570	106,660	115,090
危機対応系	87,590	85,910	132,740	132,830

參考資料

基礎データ比較

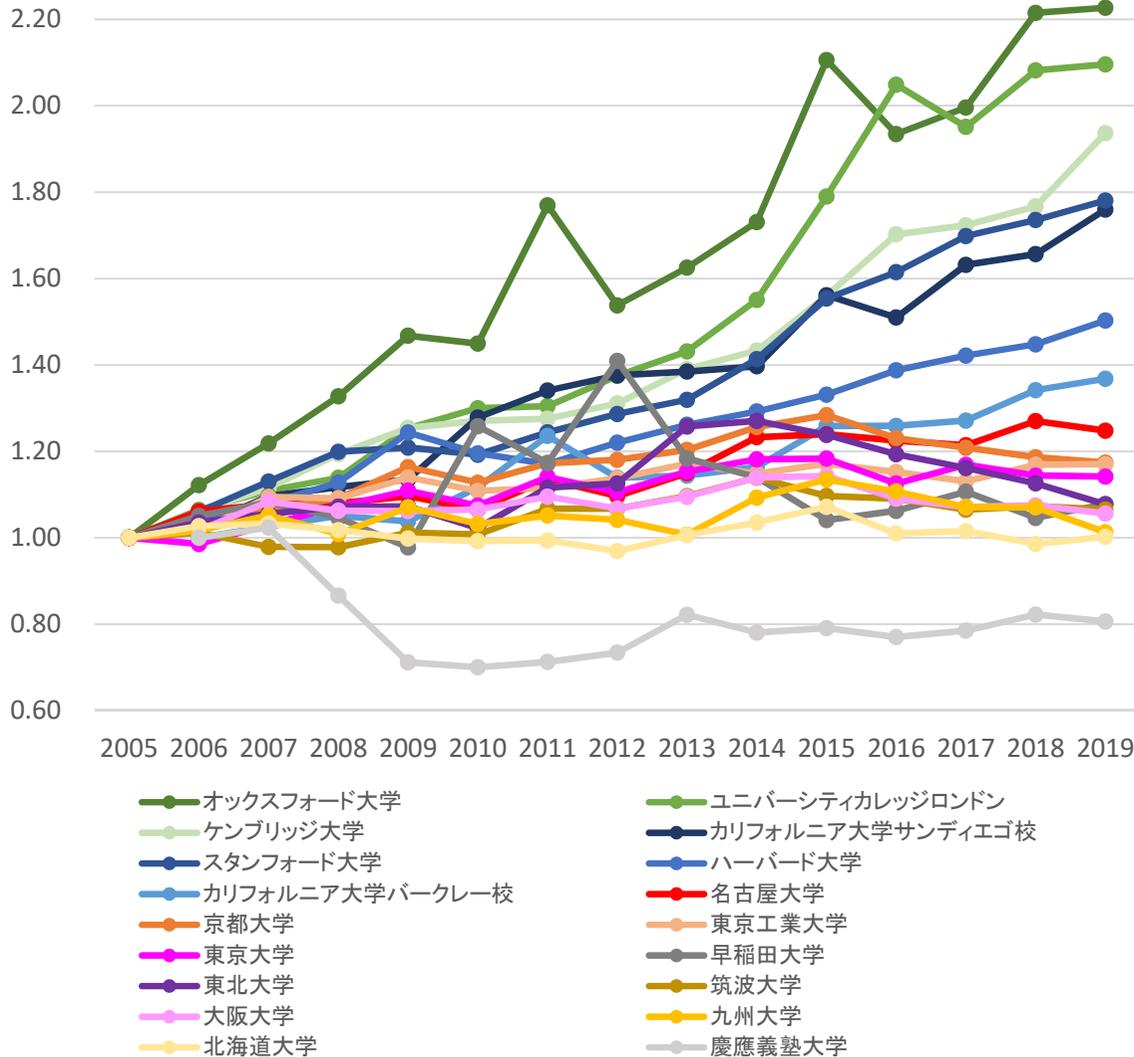
大学名	学生数		授業料		教員	職員
	学部	大学院	学部	大学院		
ハーバード大学	Full 7,210 Part 2,740	Full 13,796 Part 7,820	¥5,711,750	¥5,413,540	Full 4,389 Part 500	Full 12,446 Part 1,699
スタンフォード大学	Full 7,087 Part 0	Full 9,245 Part 1,049	¥5,888,190	¥5,846,610	Full 6,643 Part 606	Full 10,634 Part 772
カリフォルニア大学 バークレー校	Full 29,570 Part 1,283	Full 9,823 Part 1,825	州内 ¥1,567,830 州外 ¥4,848,470	州内 ¥1,560,570 州外 ¥3,221,790	Full 3,089 Part 1,179	Full 6,900 Part 980
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	Full 29,966 Part 828	Full 7,350 Part 592	州内 ¥1,585,650 州外 ¥4,858,590	州内 ¥1,480,050 州外 ¥3,141,270	Full 2,721 Part 1,558	Full 14,706 Part 2,233
オックスフォード大学	11,895	8,890	国内 ¥1,248,750 国外 ¥3,613,950 ~ ¥5,063,850	国内 ¥559,440 ~ ¥12,798,000 国外 ¥598,455 ~ ¥12,798,000	6,905 2,985 atypical	7,125
ケンブリッジ大学	12,265	7,610	国内 ¥1,248,750 国外 ¥3,000,645 ~ ¥7,835,130	国内 ¥1,193,940 ~ ¥2,062,260 国外 ¥3,714,660 ~ ¥4,861,620	6,215 180 atypical	5,955
ユニバーシティカレッジ ロンドン	18,790	17,110	国内 ¥1,248,750 国外 ¥2,916,000 ~ ¥4,981,500	国内 ¥745,875 ~ ¥2,446,200 国外 ¥2,446,200 ~ ¥6,226,200	7,700 2,700 atypical	5,375
北海道大学	11,313	6,394	¥ 535,800	¥ 535,800	2,325	2,258
東北大学	10,731	7,065	¥ 535,800	¥ 535,800	3,223	1,993
筑波大学	9,797	6,140	¥ 535,800	¥ 535,800	1,898	1,836
東京大学	14,062	13,860	¥ 535,800	¥ 535,800	3,924	2,585
東京工業大学	4,992	5,526	¥ 535,800	¥ 535,800	1,044	1,428
名古屋大学	9,585	6,187	¥ 535,800	¥ 535,800	2,330	1,131
京都大学	12,958	9,487	¥ 535,800	¥ 535,800	3,441	2,393
大阪大学	15,194	8,139	¥ 535,800	¥ 535,800	3,300	2,114
九州大学	11,679	6,887	¥ 535,800	¥ 535,800	2,386	1,855
早稲田大学	39,382	8,577	¥ 1,165,650 ~ ¥ 1,749,000	¥ 448,000 ~ ¥ 2,784,000	専任 2,021 専任以外 3,448	専任 782 嘱託等 448
慶應義塾大学	37,233	4,703	¥ 880,000 ~ ¥ 3,040,000	¥ 660,000 ~ ¥ 3,500,000	専任 2,316 非専任 3,365	3,170

※米国の大学のデータはIPEDS(The Integrated Postsecondary Education Data System)から抜粋。英国の大学のデータは学生数、教員、職員数はHESA(Higher Education Statistics Agency)から(教員はacademic、職員はnon-academicの数字)、その他の情報は各大学のウェブサイトから。\$1=110円、£1=135円として計算。日本の国立大学の数字はNIAD(大学改革支援・学位授与機構)の大学基本情報から抜粋。教員は本務、職員は本務から附属病院の看護師を除いた数字。日本の私立大学のデータは各大学のウェブサイトから。

研究大学の資金規模比較

我が国の研究大学(RU11を事例)の多くはここ数10年で資金規模を増加させているが、英米の研究大学の資金規模の成長は著しく、その差は大幅に拡大。

各国大学収入の成長指数
(インフレ調整済、2005年を1とした場合の各年の値)



各国大学の収入と増減率

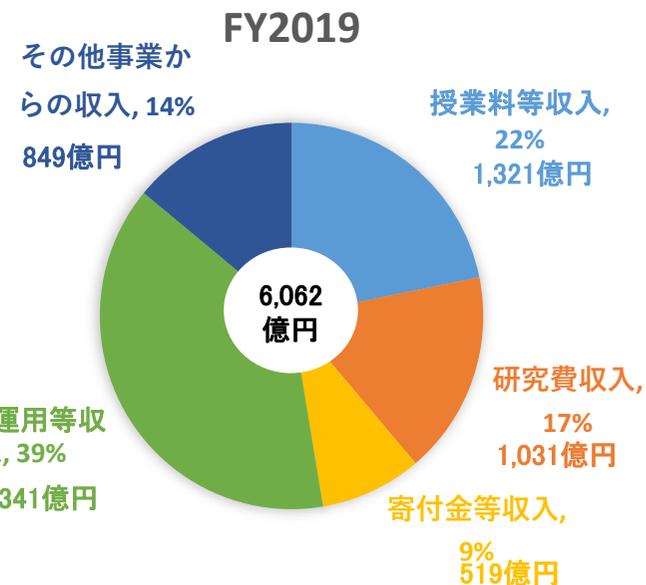
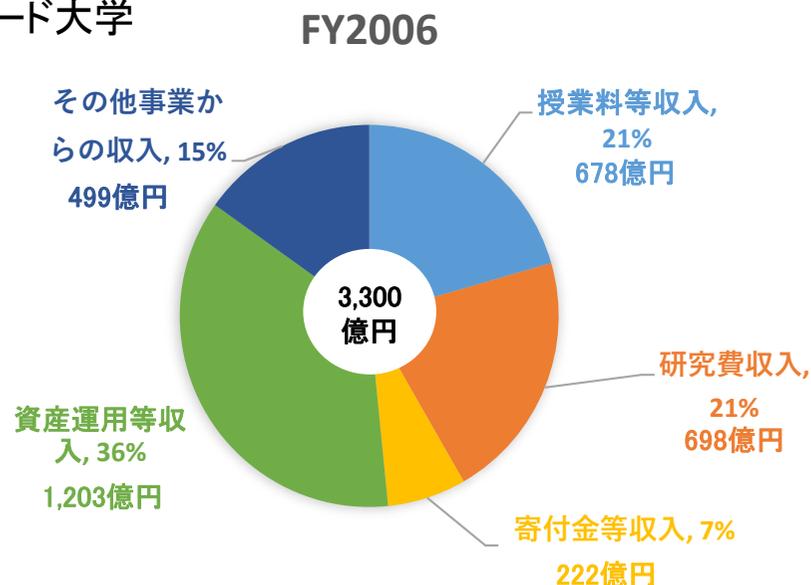
大学名	2005年収入	2019年収入	増減率
オックスフォード大学	716億円	2,201億円	207.4%
ユニバーシティカレッジロンドン	694億円 (2006)	2,007億円	189.2%
ケンブリッジ大学	1,107億円	2,959億円	167.3%
スタンフォード大学	2,892億円	6,742億円	133.1%
カリフォルニア大学サンディエゴ校	1,615億円	3,720億円	130.3%
ハーバード大学	3,081億円	6,062億円	96.8%
カリフォルニア大学バークレー校	1,859億円 (2006)	3,325億円	78.9%
名古屋大学	544億円	713億円	31.1%
京都大学	974億円	1,202億円	23.4%
東京工業大学	379億円	466億円	23.0%
東京大学	1,546億円	1,855億円	20.0%
早稲田大学	1,348億円	1,527億円	13.3%
東北大学	843億円	955億円	13.3%
筑波大学	568億円	636億円	12.0%
大阪大学	899億円	998億円	11.0%
九州大学	720億円	767億円	6.5%
北海道大学	645億円	679億円	5.3%
慶應義塾大学	2,139億円 (2006)	1,807億円	▲15.5%

※海外大学は各大学の年度報告書から作成(病院収入を除く)。日本の国立大学は財務諸表から作成(附属病院収益を除く)。日本の私立大学は各大学の資金収支計算書から作成(医療収入を除く)。左図は2005年の収入を1としたときの伸び率(慶應義塾大学、カリフォルニア大学バークレー校、ユニバーシティカレッジロンドンは2006年から)を示す。慶應義塾大学の数値が2008年以降減少しているのは、寄付金・資産売却収入・借入金等収入が当期に減少していることが主な要因(慶應義塾大学事業報告書より)。海外大学の収入については\$1=110円、£1=135円として計算。成長指数は消費者物価指数を利用して補正。

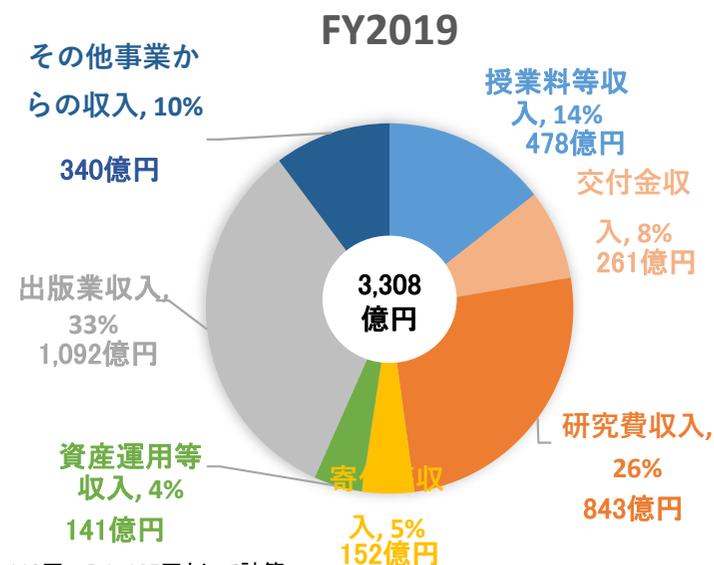
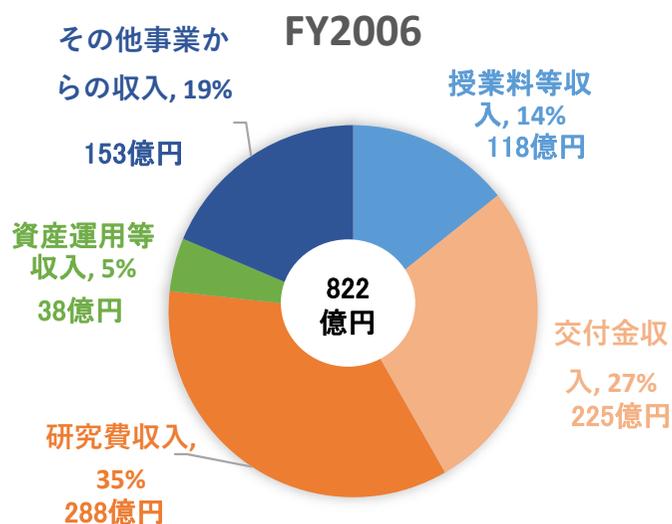
研究大学の資金増減分析

英米大学の資金の伸びを分析すると、各大学によって差はあるものの、ファンドからの収入、授業料収入、寄付金収入、その他事業からの収入の増加が大きな増加要因となっており、自己資金の増加が顕著。

ハーバード大学



オックスフォード大学



研究大学の基金の状況

基金については、日－米英間で大きな差があり、今回のファンドからの支援等により、大学内における基金の造成を促していくことが必要。

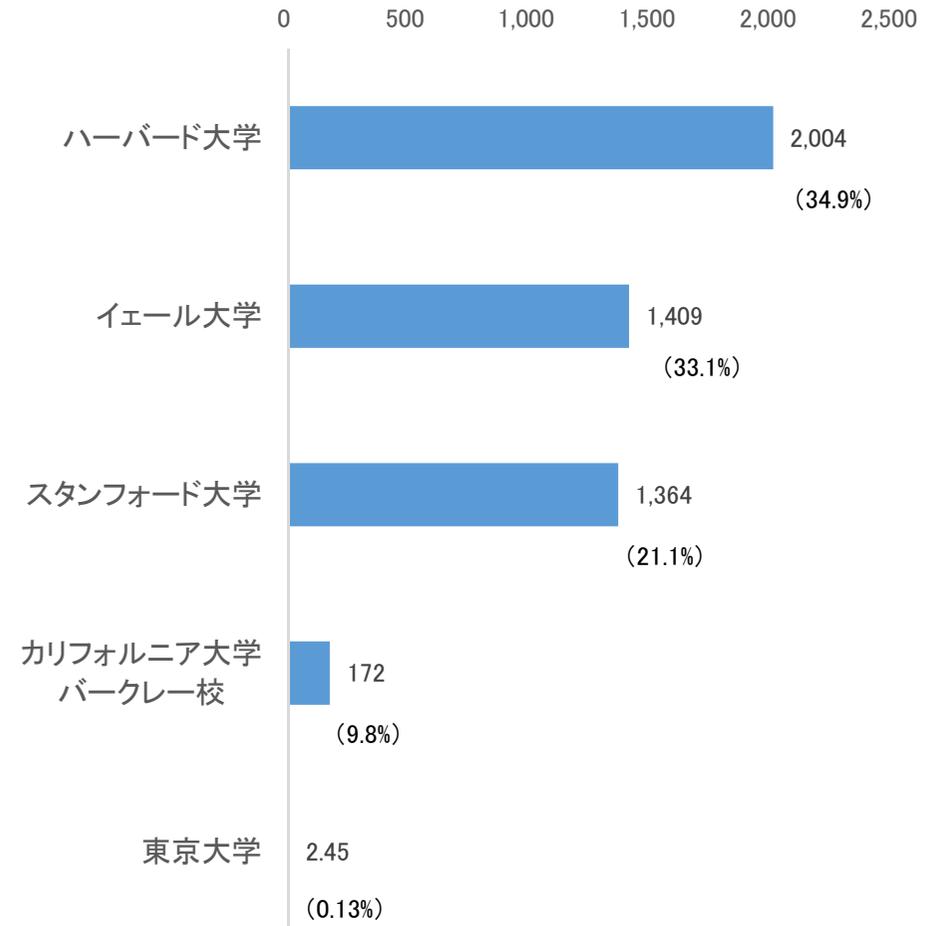
■ 大学基金の比較

(億円)

	2014年度	2017年度	2019年度
ハーバード大学	40,072	40,806	45,023
イエール大学	26,284	29,894	33,346
スタンフォード大学	23,591	27,264	30,470
プリンストン大学	22,486	25,570	28,050
カリフォルニア大学バークレー校	4,305	4,187	5,279
カリフォルニア大学サンディエゴ校	827	1,480	1,908
ケンブリッジ大学	3,093	3,995	4,591
オックスフォード大学	5,445	6,843	8,235
ユニバーシティカレッジロンドン	122	150	187
東京大学	104	108	149
京都大学	—	—	197
大阪大学	25	35	52
東北大学	21	34	33
九州大学	31	31	36
慶應義塾大学	543	688	783

■ 基金による運用益(2018年度)

(億円)



※括弧内は、大学の総収入に占める基金運用益の割合

※米国・英国大学は各大学・カレッジの財務諸表、またはManagement Companyの報告書より作成。ケンブリッジ大学はCambridge University Endowment Fund (CUEF)の数値で、カレッジは含まない。オックスフォード大学はカレッジの基金を含む。オックスフォード大学本体の基金はそれぞれ以下の通り:1,620億円(2019年)、1,228億円(2017年度)、926億円(2014年度)。\$1=110円、£1=135円として計算。東京大学は財務諸表および基金年度報告より、京都大学は基金HP(アクセス日:2021年2月19日)より、大阪大学は基金活動報告書および基金HP(アクセス日:2021年2月19日)より、東北大学は財務諸表より、九州大学は基金活動報告書より、各大学基金の期末残高を記載。慶應義塾大学は事業報告書より第3号基本金の当期末残高を記載。

研究大学における寄付の受入れ状況

基金を造成していくためには、寄付金等の受入れ額を増やしていくことが必要。寄付金については我が国においても増加しているものの、諸外国との差は依然、大きい。

大学名	2005年 寄付受入額	2019年 寄付受入額	増減率
北海道大学	24.1億円	32.9億円	36.4%
東北大学	44.2億円	33.4億円	▲24.4%
筑波大学	12.4億円	28.1億円	126.1%
東京大学	98.0億円	103.6億円	5.7%
東京工業大学	10.7億円	15.0億円	40.5%
名古屋大学	20.6億円	42.2億円	104.7%
京都大学	74.6億円	191.0億円	156.1%
大阪大学	44.8億円	59.9億円	33.8%
九州大学	24.0億円	36.0億円	50.0%
慶應義塾大学	98.5億円 (2006年)	99.1億円	0.6%
早稲田大学	39.4億円	28.3億円	▲28.2%

大学名	2006年	2019年	増減率
スタンフォード大学	1,002.3億円	1,223.5億円	22.1%
ハーバード大学	654.4億円	1,516.9億円	131.8%
カリフォルニア大学 バークレー校	270.6億円	605.7億円	123.8%
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	203.4億円	317.9億円	56.3%

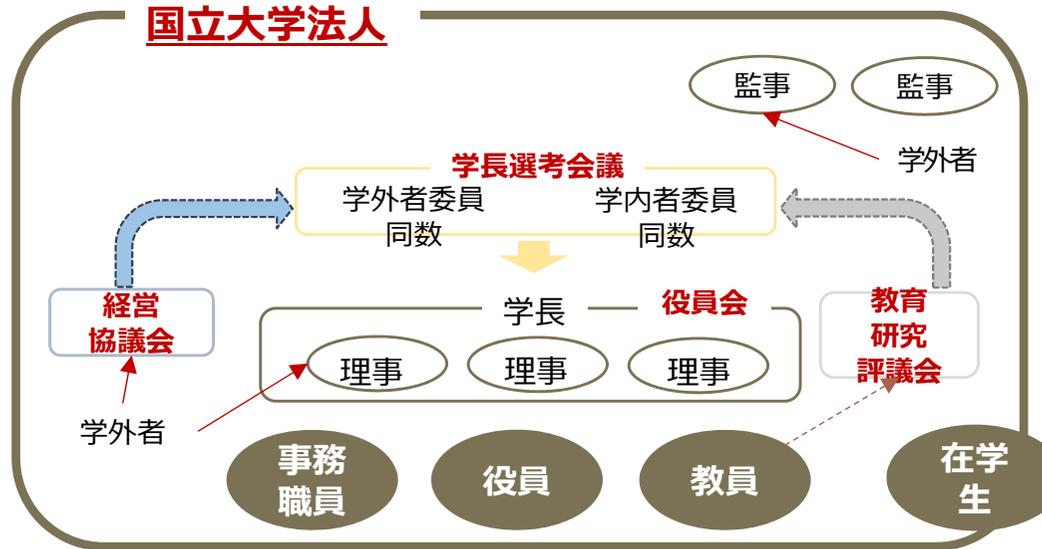
※VOLUNTARY SUPPORT OF EDUCATION, Council for Aid to Educationより作成。
\$1=110円として計算。

大学名	2006年	2019年	増減率
オックスフォード大学	—	152.3億円	—
ケンブリッジ大学	—	150.4億円	—
ユニバーシティカレッジ ロンドン	—	54.7億円	—

※各大学の財務報告書のdonation and endowmentの数値。£1=135円として計算。

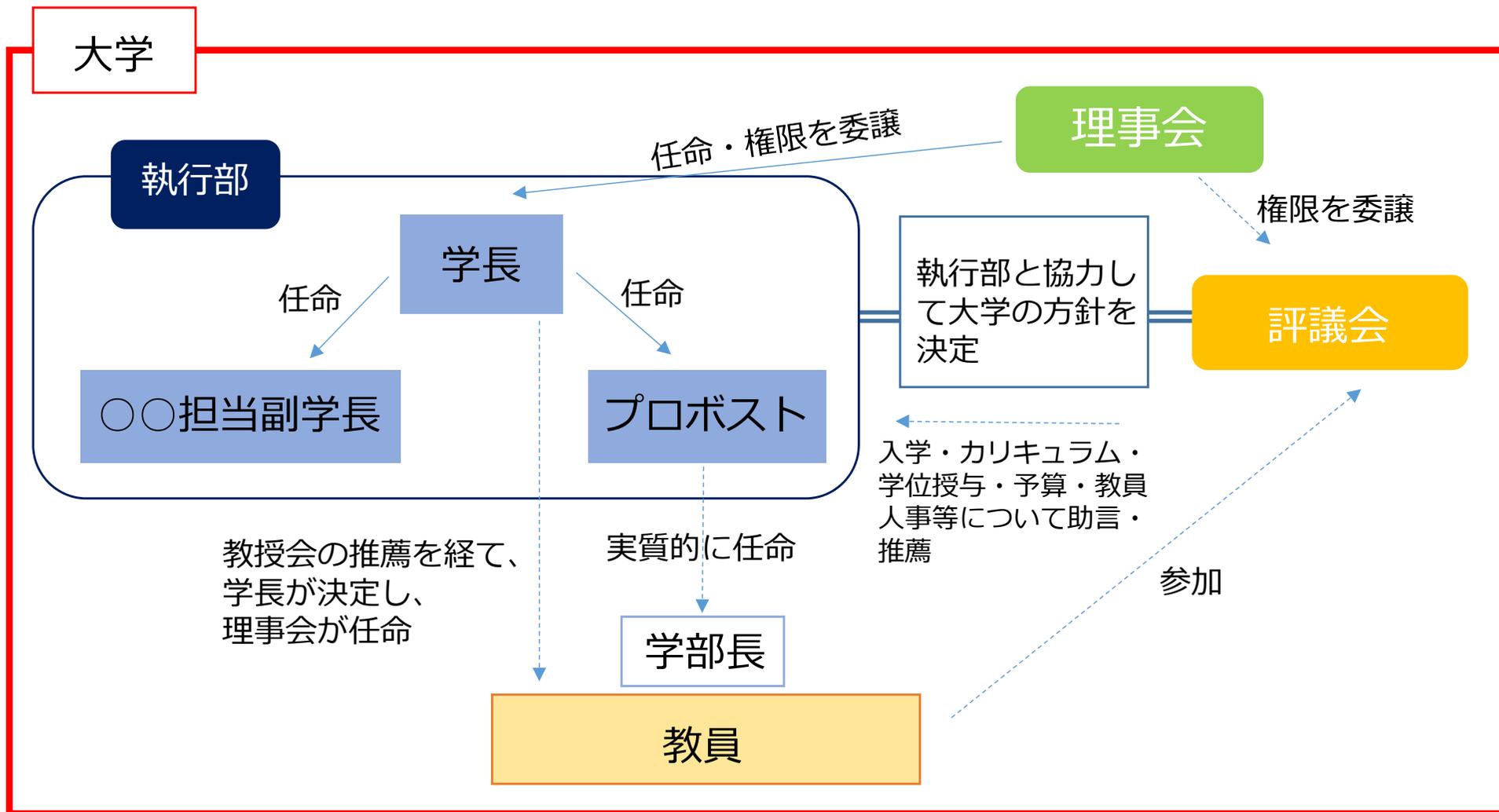
※国立大学は財務諸表における寄附金当期受入額、私立大学は事業報告書内収支計算書の寄附金収入の数値。

現行の国立大学法人のガバナンス体制



	学長選考会議	役員会	経営協議会	教育研究評議会
議長	委員の互選	学長	学長	学長
議決権	あり (議長が学長選考会議に諮って定める)	なし (役員会の議を経て、学長が重要事項を決定)	なし	なし
審議内容	<ul style="list-style-type: none"> 学長の選考や解任の申し出 学長選考会議の議事の手続きや、同選考会議に関して必要な事項 選考した学長の業務執行状況に係る恒常的な確認 	重要事項 <ul style="list-style-type: none"> 中期目標についての意見 大臣認可または承認を受けなければならない事項 予算作成及び執行並びに決算 重要な組織の設置又は廃止など 	経営に関する重要事項 <ul style="list-style-type: none"> 中目・中計の経営に関するもの 経営に関する学則、会計規定、役員報及び退職手当の支給基準や職員給与及び退職手当の支給基準 予算作成及び執行並びに決算 組織及び運営状況についての評価など 	教育研究に関する重要事項 <ul style="list-style-type: none"> 中目・中計に関するもの 学則、教員人事に関するもの 教育課程の編成に関する方針 学位の授与に関する方針 教育及び研究の状況についての評価など
構成員	<u>経営協議会の外部委員 (学外者)</u> + (それぞれ同数) <u>教育研究評議会委員 (学内者)</u> ※現行法では、定めにより、 学長 又は理事を加えることが可 (総数の 1/3 を超えてはならない)	・学長 ・理事 ※役員数が4名以上の場合は複数の外部理事、3名以下の場合には1名の外部理事を置くことが必要	・学長 ・学長が指名する理事及び職員 ・ 教育研究評議会の意見を聴いて学長が任命する学外者 (過半数) ※大学総括理事がいる場合は含む (過半数が外部)	・学長 ・ 学長が指名する理事及び職員 ・ 重要な組織の長のうち、教育研究評議会が定める者 ※大学総括理事や教育研究に関する重要事項に関する校務をつかさどる副学長がいる場合は含む (全員が内部)

諸外国の大学のガバナンス体制・学長選考プロセス(アメリカ)



- ◆学長の任命 : 学長選考のための委員会が、外部サーチ機関を活用しながら候補者を選考し、最終的に理事会が任命。内部からの昇格は極めて少ない。
- ◆学部長・学科長の任命 : 学部長は実質的に人事を握るプロボストが事実上任命することが多い。学外者になることも多い。
- ◆教員の任用 : 学科・学部レベルの推薦、評議会による推薦を経て、学長が決定し、理事会が任命する場合が多い。

※上記①②は、「大学のガバナンス改革の推進について」（審議まとめ）（平成26年2月12日中央教育審議会大学分科会）、「アメリカの大学評議会と共同統治 -カリフォルニア大学の事例-」（福留東士 広島大学高等教育研究開発センター大学論集 第44集（2012年度）2013年3月発行；49-64）、「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要 アメリカ合衆国第2版(2016年版）」（独立行政法人大学評価・学位授与機構）をもとに、文部科学省にて作成

世界大学ランキングについて

概要

- ◆ 毎年、様々な世界の大学ランキングが発表されている。
- ◆ **評価項目**は、「教育環境」及び「研究」はほぼ共通するも、「国際性」「産業界との繋がり」「各評判評価」等も対象となっているほか、それぞれの項目中の指標や評価方法は多種多様である。
- ◆ **課題**として、時に**評価指標の取り方に変更があること**、**評価方法が一部非公開になっていること**や**教育中心の大学は評価されない等**の指摘もなされている。
- ◆ 大学ランキングは、順位を一概に評価することはできないが、個別の指標を分析することは、我が国の大学の国際的な評価を知り、改善する上で参考になる。

主な世界大学ランキング	評価指標	100位以内の国内大学
Times Higher Education World University Rankings 2021 	①教育 (30%) ②論文引用 (30%) ③研究 (30%) ④国際 (7.5%) ⑤産学連携 (2.5%)	・東京大学 (36位) ・京都大学 (54位)
Quacquarelli Symonds QS World University Rankings® 2021 	①世界各国の学者による評価 (40%) ②世界各国の雇用者による評価 (10%) ③教員一人あたり論文引用数 (20%) ④学生一人あたり教員比率 (20%) ⑤留学生比率 (5%) ⑥外国人教員比率 (5%)	・東京大学 (24位) ・京都大学 (38位) ・東京工業大学 (56位) ・大阪大学 (72位) ・東北大学 (79位)
世界一流大学センター (上海交通大学) Academic Ranking of World Universities 2020 	①ノーベル賞もしくはフィールズ賞を受賞した卒業生数 (10%) ②ノーベル賞もしくはフィールズ賞を受賞した教員数 (20%) ③21の領域分野において被引用頻度の高い研究者の数 (20%) ④ネイチャー誌・サイエンス誌発表論文数 (20%) ⑤自然科学系及び社会科学系論文インデックスへの掲載論文数 (20%) ⑥上記5つの指標を教員のフルタイム換算値で割った補正值 (10%)	・東京大学 (26位) ・京都大学 (34位) ・名古屋大学 (83位)
世界大学ランキングセンター (アラブ首長国連邦) The Center for World University Rankings - 2020-2021 	①世界的な賞を受賞した卒業生数 (25%) ②卒業生におけるグローバル企業の最高経営責任者クラスの数 (25%) ③世界的な賞を受けた教員数 (10%) ④論文掲載数 (10%) ⑤一流ジャーナルに掲載された論文数 (10%) ⑥影響力のあるジャーナルに掲載された論文数 (10%) ⑦被引用論文数 (10%)	・東京大学 (14位) ・京都大学 (28位) ・大阪大学 (87位) ・慶應義塾大学 (93位)

世界大学ランキングについて

◆Times Higher Education「World University Rankings 2021」 (2020年9月公表)

- 1 オックスフォード大学(英)
- 2 スタンフォード大学(米)
- 3 ハーバード大学(米)
- 20 清華大学(中国)
- 23 北京大学(中国)
- 25 シンガポール国立大学(シンガポール)
- 36 東京大学**
- 39 香港大学(香港)
- 47 南洋理工大学(シンガポール)
- 54 京都大学**
- 56 香港科技大学(香港)
- 56 香港中文大学(香港)
- 60 ソウル国立大学(韓国)
- 87 中国科学技術大学(中国)
- 94 浙江大学(中国)
- 96 韓国科学技術院(KAIST)(韓国)
- 97 国立台湾大学(台湾)
- 100 上海交通大学(中国)

(201-400位の日本の大学)

201-250 東北大学 301-350 東京工業大学

351-400 名古屋大学 351-400 大阪大学

351-400 産業医科大学

ランクイン大学数※(国別)

- 1位 米国 (181校)
- 2位 日本 (116校)
- 3位 英国 (101校)

※全1,526大学

【評価指標】

- ①教育(30%)
- ②研究(30%)
- ③論文引用(30%)
- ④国際(7.5%)
- ⑤産学連携(2.5%)

◆QS「World University Rankings 2021」 (2020年6月公表)

- 1 マサチューセッツ工科大学(米)
- 2 スタンフォード大学(米)
- 3 ハーバード大学(米)
- 11 シンガポール国立大学(シンガポール)
- 13 南洋理工大学(シンガポール)
- 15 清華大学(中国)
- 22 香港大学(香港)
- 23 北京大学(中国)
- 24 東京大学**
- 27 香港科技大学(香港)
- 34 復旦大学(中国)
- 37 ソウル国立大学(韓国)
- 38 京都大学**
- 39 韓国科学技術院(韓国)
- 43 香港中文大学(香港)
- 47 上海交通大学(中国)
- 48 香港城市大学(香港)
- 53 浙江大学(中国)
- 56 東京工業大学**
- 59 マラヤ大学(マレーシア)
- 69 高麗大学校(韓国)
- 72 大阪大学**
- 75 香港理工大学(香港)
- 77 浦項工科大学(韓国)
- 79 東北大学**
- 85 延世大学(韓国)
- 93 中国科学技術大学(中国)

ランクイン大学数※(国別)

- 1位 米国 (151校)
- 2位 英国 (84校)
- 3位 中国 (51校)
- 4位 ドイツ (51校)
- 5位 日本 (41校)

※全1,003大学

【評価指標】

- ①世界各国の学者による評価(40%)
- ②世界各国の雇用主による評価(10%)
- ③学生一人あたり教員比率(20%)
- ④教員一人あたり論文引用数(20%)
- ⑤外国人教員比率(5%)
- ⑥留学生比率(5%)

(出典)各社ホームページをもとに文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室作成(2020年12月)